第 42 回
日本小児外科学会秋季シンポジウム
2026 年 10 月 31 日（土）

Pediatric Surgery Joint Meeting 2026

PSJM2026
2026 年 10 月 29 日（木）・30 日（金）

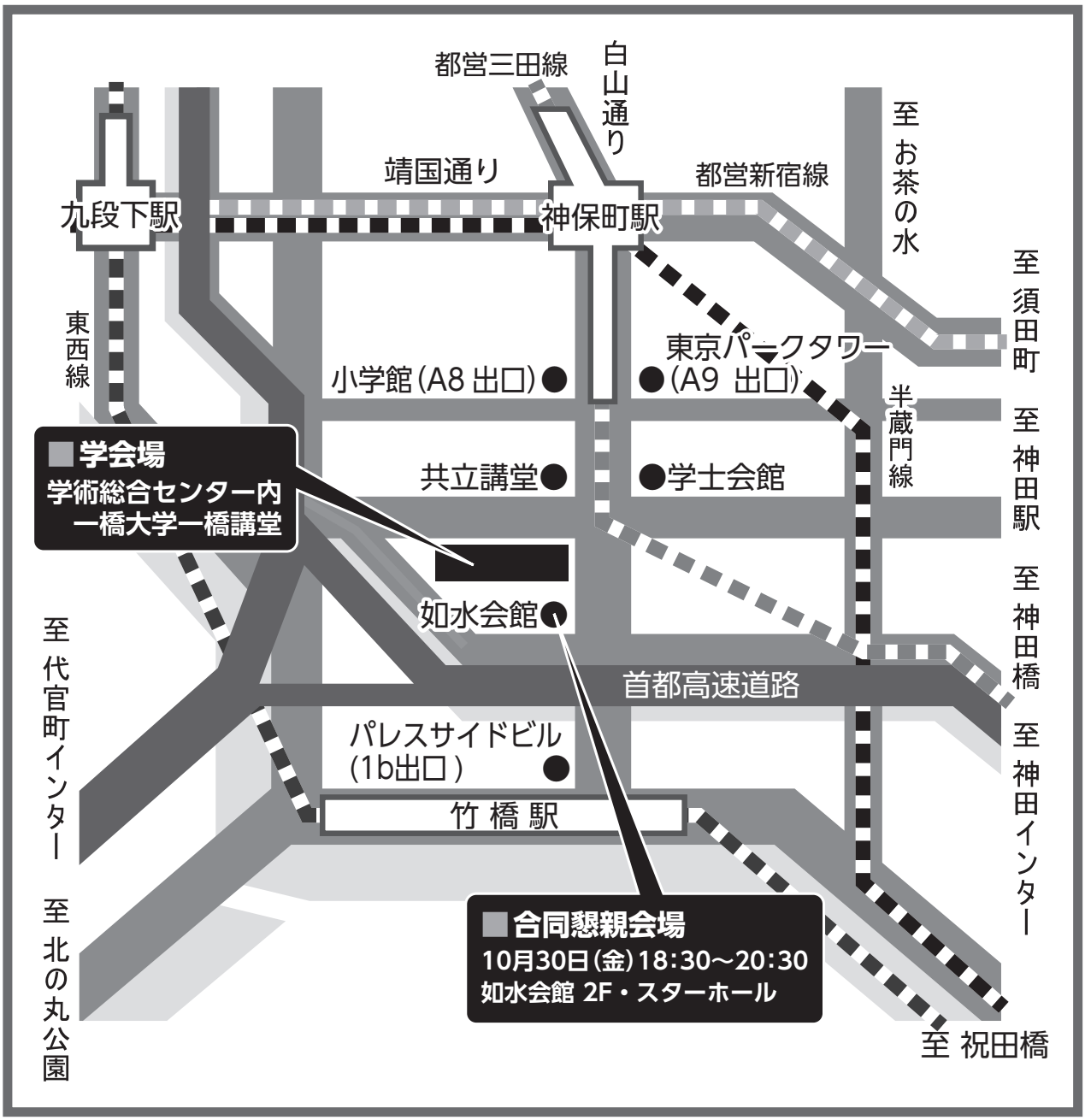
第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会
第 36 回日本小児呼吸器外科研究会
第 55 回日本小児外科代謝研究会
第 82 回直腸肛門奇形研究会
第 30 回日本小児外科漢方研究会

■会場

一橋大学一橋講堂

〒 101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

交通のご案内

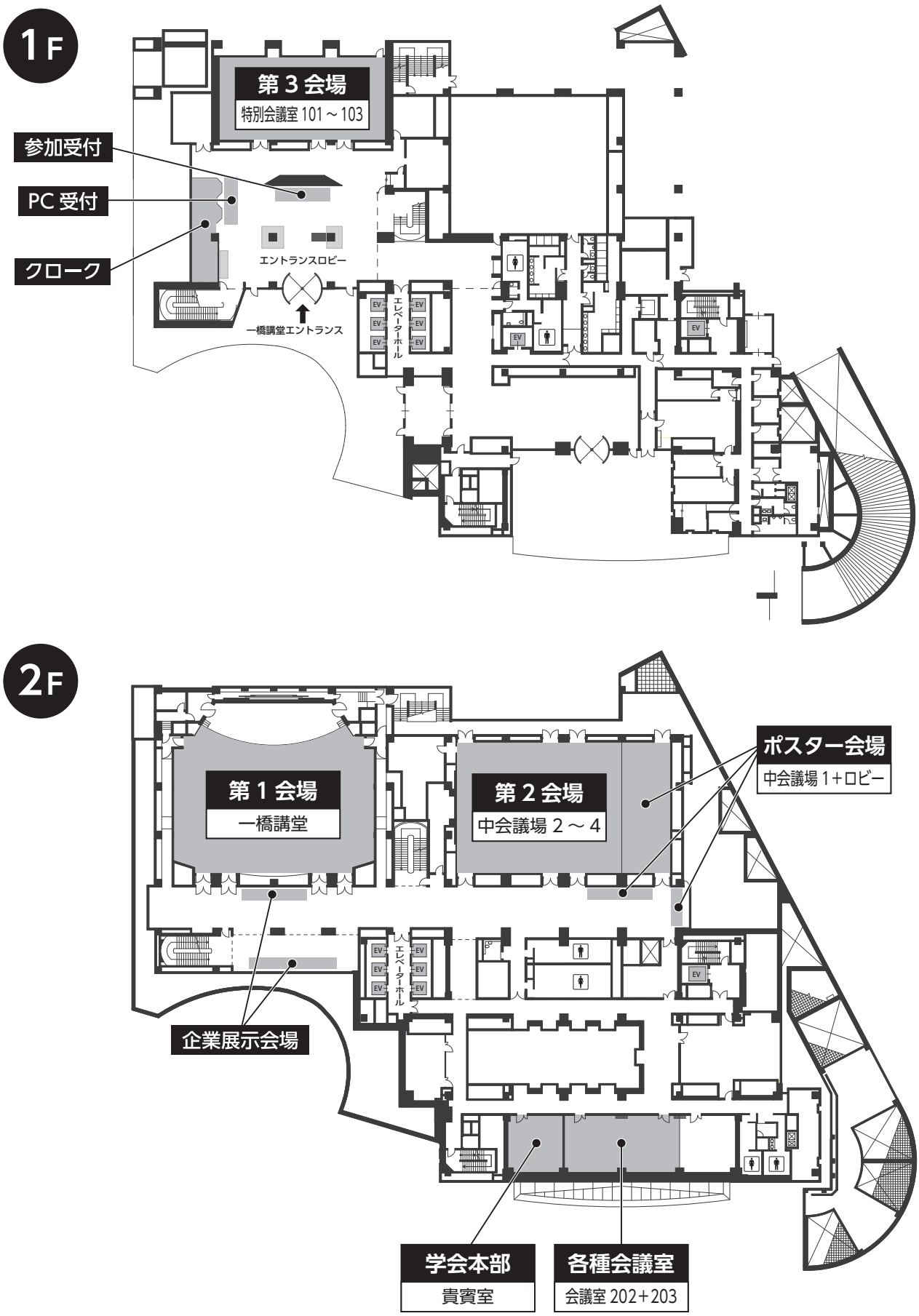


■学会場

【一橋大学一橋講堂】
〒101-8439　東京都千代田区一ツ橋 2-1-2　学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線　神保町駅（A8・A9 出口）徒歩 4 分
東京メトロ東西線　竹橋駅（1b 出口）徒歩 4 分

会場のご案内


1F
第 3 会場
特別会議室 101 ～ 103
参加受付
PC 受付
クローク
エントランスロビー
一橋講堂エントランス
エレベーターホール
2F
第 1 会場
一橋講堂
第 2 会場
中会議場 2 ～ 4
ポスター会場
中会議場 1+ロビー
企業展示会場
エレベーターホール
学会本部
貴賓室
各種会議室
会議室 202+203

参加者へのご案内

1．開催方法について

本会は講演（スライドおよび音声）を後日オンデマンド配信（企業共催セミナー以外）いたします。ライブ配信はございません。参加登録は、学会ホームページからのオンライン参加登録制となります。会場では参加登録をおこないません（参加費をお支払いいただけません）ので､必ず学会ホームページ内【参加登録ページ】から参加登録（参加費支払い）をお済ませのうえ、会場にお越しください。

現地参加の方は、後日オンデマンド配信でのご視聴も可能です（企業共催セミナー以外)。参加登録後に自動配信されるメールに記載のログイン ID とパスワードを使用し、後日オンデマンド配信視聴ページにログインしてください。

2．参加受付

〈学会ホームページ〉

https://psjm2026.umin.jp/

日時：10 月 29 日（木） 9：00 ～ 18：30
10 月 30 日（金） 9：00 ～ 17：00
10 月 31 日（土） 9：00 ～ 18：00

会場：1F ロビー

- 名誉会員・特別会員の方は、無料ご招待となりますので、参加登録手続きは不要でございます。現地参加をされる方は、当日総合案内窓口にお越しください。
  後日オンデマンド配信視聴をご希望の方は、メール（psjm2026@macc.jp）でお問い合わせください。
- 現地では参加登録（参加費のお支払い）手続きはおこなっておりません。
- 参加登録時に QR コードを発行いたします。参加受付窓口でご提示ください。
  確認が取れましたらネームカードをお渡しいたします。
- 参加証明書・領収書は各自マイページよりダウンロードをお願いいたします。

3．参加登録期間および参加費

参加登録期間

現地参加　2026 年 9 月 24 日（木） 12：00 ～ 10 月 31 日（土） 17：00

Web参加　2026 年 9 月 24 日（木） 12：00 ～ 12 月 15 日（火） 12：00

※コンビニ決済：12 月 10 日（木） 24：00 まで

参加費

医　　師：18,000 円

医 師 以 外： 8,000 円

初期研修医： 8,000 円 ※ 1

医学部学生：無料 ※ 2

※ 1　初期研修医の方は、所定の身分証明書（初期研修医証明書）を参加登録システム内でアップロードしてください。

※ 2　医学部学生の方は、学生証を参加登録システム内でアップロードしてください。

- ご招待以外の演者・座長の方は、会期までに必ず参加費のお支払いをお済ませください。
- 日本小児外科学会会員の参加費は、消費税の課税対象となりません（不課税)。非会員の参加費は、消費税（10%）の課税対象となります。

4．単位・参加証明書

- オンライン参加（ライブ配信はございません。後日オンデマンド配信）の場合でも、専門医・指導医の更新のための学会参加歴として認められますが、以下の 2 つのセッションは、当日会場にて学会ご参加後、聴講していただいた方のみに単位付与されます。

  日本専門医機構 単位付与講習

  ① 10 月 30 日（金）：日本小児外科学会ワーク・ライフ・バランス検討委員会 講演会

  付与単位：日本専門医機構 共通講習（医療制度と法律）

  ② 10 月 31 日（土）：第 42 回日本小児外科学会秋季シンポジウム・特別企画①

  付与単位：日本専門医機構 外科領域講習

  ※各講習会場で対象セッション開始前および終了後に受付をいたします。開始時間 10 分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、日本専門医機構単位は付与されませんのでご了承ください。また、原則途中退出は認められません。
- 参加証明書内には、学術集会参加 ID が記載されております。日本外科学会会員は、日本外科学会のホームページから今回の日本小児外科学会秋季シンポジウムの参加記録を登録しておくことができます。上記の学術集会参加 ID を登録することにより、今回の学術集会に参加したことの証明に使用できますので、大切に保管してください。
- 日本外科学会のホームページ［TOP ページ］［Japanese］→［学術集会］→［学術集会等参加登録］→［参加 ID 番号登録・照会］→ログイン後、この参加証に記載されている ID 番号を入力してください。
- 同一の ID 番号を複数回入力することはできません。

5．抄録集

抄録集は PDF 版のみとなり、冊子版はございません。予めご了承ください。本学会ホームページ内［マイページ］より閲覧・ダウンロードをお願いいたします。ログイン ID ／パスワードは参加登録後の自動配信メールに記載しております。

6．学会アプリ

本学会ではプログラム・抄録集アプリ（無料）をご用意しております。

閲覧にはアプリ「日本小児外科学会」をダウンロードしご利用ください。

日本小児外科学会

iOS

Android

※　抄録本文閲覧パスワードは、psjm2026 です。

※　閲覧の開始時期につきましては学会ホームページでご案内いたします。

７．Wi-Fi

会場ではフリー Wi-Fi をご利用いただけます。ID と PW は会場でご確認ください。

※フリー Wi-Fi のため、通信速度保証はできませんことをご了承ください。

８．クローク

1F ロビーに仮設クロークを開設しますので、ご利用ください。

オープン日時：10 月 29 日（木） 9：00 ～ 19：30

10 月 30 日（金） 9：00 ～ 18：00

10 月 31 日（土） 9：00 ～ 18：30

※　10 月 30 日（金）の合同懇親会に参加される方は、クロークの荷物を引き取ってからご参加ください。

９．企業展示

日時：10 月 29 日（木） 9：00 ～ 19：00

10 月 30 日（金） 9：00 ～ 17：40

10 月 31 日（土） 9：00 ～ 18：00

会場：2F ロビー

10. 共催セミナー

共催セミナーはチケット制ではございません。直接会場へお越しください。お弁当などは先着順となります。数に限りがございますのでご了承願います。

11. 合同懇親会

日　時：10 月 30 日（金）　18：30 ～ 20：30

会　場：如水会館 2F スターホール

参加費：無料（学会参加証をご着用ください）

12. その他

会場内での録音・写真撮影・ビデオ撮影は、固くお断りいたします。

携帯電話の電源は、お切りになるか、マナーモードに設定してください。

web 視聴ページ内の写真、スライド、映像、音声の著作権は、著作者、団体に帰属します。画面の録画、静止画記録、録音での保存や転載は固く禁止いたします。ご協力いただきますようお願いいたします。

13. お問い合わせ先

第 42 回日本小児外科学会秋季シンポジウム /PSJM2026　運営事務局

株式会社 MA コンベンションコンサルティング

〒 102-0083　東京都千代田区麹町 4-7-7　麹町パークサイドビル 402

TEL：03-5275-1191　FAX：03-5275-1192

E-mail：psjm2026@macc.jp

座長・演者の皆様へ

座長の皆様へ

口演セッションの座長は、ご担当セッション開始予定時刻の 15 分前までに、講演会場内の「次座長席」にご着席ください。

プログラムの定時進行にご協力をお願いいたします。

ポスターセッションの座長は、ご担当セッションの開始時刻の 5 分前までに、ポスター会場内にお越しください。

※ポスター発表中、タイムキーパースタッフはおりませんので、本プログラムに記載の講演時間を目安に進行をお願いいたします（小児内視鏡外科手術手技研究会ではスタッフが確保できました）。

演者の皆様へ

1）発表形式

発表は口演発表・ポスター発表です。発表時間については、必ず採択通知をご確認ください。

口演発表は PC プレゼンテーションのみです。

2）口演発表について

① PC 受付（1F ロビー）

PC 受付は、発表セッション開始 30 分前までにお済ませください。 混雑時にはご発表時間に順じた対応になりますのでご了承ください。

受付時間：10 月 29 日（木） 9：00 ～ 18：30
10 月 30 日（金） 9：00 ～ 17：00
10 月 31 日（土） 9：00 ～ 18：00

②受付と発表方法

・該当セッション開始の 30 分前までに PC 受付にて受付をお済ませいただき、15 分前までに会場内の次演者席（スクリーンに向かって左側）にご着席ください。
・発表は、演台上のモニターで確認しながら備え付けのマウス及びキーボードで進めてください。
・講演データサイズは 16：9 を推奨いたします（4：3 サイズも映写可能です）。
・データは会期終了後、事務局にて責任を持って削除いたします。

③利益相反の開示

発表者は利益相反の開示を行ってください。

発表データに（タイトルページの後、ないしはまとめて）開示してください。

詳しくはホームページをご確認ください。

④データを持ち込まれる方へ

・Microsoft PowerPoint データをお持ち込みください。
・発表データは、USB フラッシュメモリにてご持参ください。Mac ご利用の方、動画が含まれる方は PC をお持ち込みください。変換コネクタもご持参ください。
・PowerPoint の「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
・フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記フォントを推奨いたします。

【日本語】MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・游明朝・メイリオ

【英　語】Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・New・Georgia

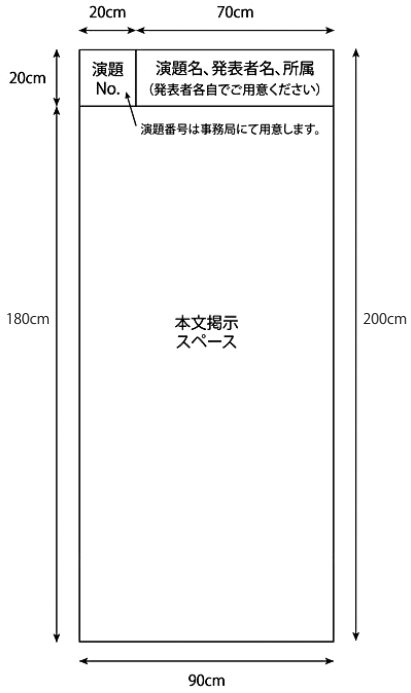
⑤ PC を持ち込まれる方へ

・PC 本体を持ち込まれる場合でも、必ず PC 受付で試写確認を行ってください。
会場でご準備致しております PC ケーブルコネクター形状は HDMI です。（図参照）
PC 本体に HDMI 出力ポートが無ければ、お持ちの PC 専用 HDMI 変換コネクターをお持ちください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。

・再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
・スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
・不測の事態に備え、データのバックアップを USB メモリでご用意いただき、作成した PC 以外で必ず事前に動作確認してください。
・プロジェクターへの接続は会場内の PC オペレーター席にて技術者が行います。
発表は、演題のモニターで確認しながら備え付けのマウス及びキーボードで進めてください。
・お預かりした PC 本体は、発表終了後会場内のオペレーター席にて返却いたしますので、速やかにお受け取りください。

3）ポスター発表について

・演題番号は事務局で準備いたします。サイズは縦 20cm × 横 20cm です。
・ポスターパネルの演題番号をご確認のうえ、所定の場所にポスターを掲示してください。
・貼付用画鋲は予めポスターパネルに備え付けています。
・パネル規格（右図参照）に従って、演題名･発表者名･所属（縦 20cm ×横 70cm）を各自で作成してください。
・ポスター本文は、縦 180cm × 横 90cm に収まるように作成してください。
・ポスター受付はございません。ポスター発表者は下記発表日時にご自身のポスターの前にお立ちいただき、座長の進行に従ってご発表ください。
・発表者は利益相反の開示を行ってください。詳しくはホームページをご覧ください。



①1 ～ 2 日目と 3 日目で貼り替えとなります。
②日ごとに発表時間が異なります。詳細は各会プログラムページでご確認ください。
1 演題の発表時間
10 月 30 日（金）第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会：発表 4 分、質疑 2 分
10 月 31 日（土）第 42 回日本小児外科学会秋季シンポジウム：発表 2 分、質疑 1 分
③撤去時間を過ぎたものは運営事務局にて、撤去、廃棄します。

日にち	貼付	閲覧	発表	撤去
10 月 29 日（木）	9：00 ～ 13：00	9 ：30 ～ 19：00	なし	なし
10 月 30 日（金）	9：00 ～ 9 ：30	9 ：00 ～ 16：10	16：10 ～ 17：00	17：00 ～ 18：30
10 月 31 日（土）	9：15 ～ 10：30	10：30 ～ 13：30 14：00 ～ 17：00	13：30 ～ 14：00	17：00 ～ 18：00

各種会議のご案内

学会ホームページに最新情報を掲載いたします。

各種セミナーのご案内

■第 21 回小児内視鏡外科手術セミナー

日　　時：2026 年 10 月 30 日（金）9：20 ～ 10：20
場　　所：第 1 会場（2F 一橋講堂）
開催形式：現地開催＋オンデマンド配信
共　　催：日本小児内視鏡外科・手術手技研究会、日本小児外科学会教育委員会、
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

テ ー マ：小児高難度内視鏡外科手術を安全に行うためのポイント（講義各 25 分、質疑各 5 分）
司　　会：川嶋　　寛（埼玉県立小児医療センター　小児外科）
講師と内容：

1．腹腔鏡下横隔膜ヘルニア修復術
講師：矢本　真也（大阪市立総合医療センター　小児外科）
2．腹腔鏡下腎盂形成術
講師：渡邊　美穂（大阪大学小児成育外科）

参 加 費：PSJM2026 参加者は、本セミナーに無料でご参加いただけます。
※受講証明書の発行が必要な場合は、2,000 円の事前参加登録が必要です。

申し込み：受講証明書の発行が必要な方は、PSJM2026 参加登録開始後、事前にお申込みください。本セミナーは、現地参加またはオンデマンド配信の視聴のいずれの方法でも受講いただけます。

受講証明書：以下の全ての条件を満たした場合のみ受講証明書を発行します。
・セミナー参加費のお支払い
・セミナーの受講（現地参加、またはオンデマンド配信の視聴）
・講義中に提示されるキーワードの全問正解
・（現地参加の場合のみ）QR コードによる受講確認

日本小児内視鏡外科・手術手技研究会
代表世話人　内田　広夫

第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会
会長　佐藤　正人

日本小児外科学会教育委員会
担当理事　渡辺　稔彦
委 員 長　渡邊　美穂

連絡先：〒 112-0012　東京都文京区大塚 5-3-13-3F
一般社団法人　学会支援機構内
小児内視鏡外科手術セミナー係
TEL. 03-5981-6019／FAX. 03-5981-6012
E-mail. jsps@asas-mail.jp

■日本小児外科学会ワーク・ライフ・バランス検討委員会講演会

日　　時：2026 年 10 月 30 日（金）16：30 ～ 17：30
場　　所：第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）
※会場で聴講された場合、日本専門医機構共通講習（医療制度と法律）として単位が付与されます。

講演 1
“ ハラスメントしない ” から “ 育てる ” へ ～成長する組織のリーダーシップ講座～
後藤　理英子（東京医科大学　医学・看護学教育推進センター　講師）

講演 2
『指導だから仕方ない』で終わらせない ～ハラスメントの傷つきから心を守る～
上谷　実礼（ヒューマンハピネス株式会社　代表取締役）

主催：日本小児外科学会ワーク・ライフ・バランス検討委員会

■特別委員会報告「医系技官とは」

日　　時：2026 年 10 月 30 日（金）17：05 ～ 17：55
場　　所：第 2 会場（2F 中会議場 2 ～ 4）
講師と内容：「医系技官とは」
原澤　朋史（厚生労働省　大臣官房厚生科学課）

共催セミナーのご案内

10 月 29 日（木）

ランチョンセミナー 1　12：20 ～ 13：20　第 2 会場（2F 中会議室 2 ～ 4）

「小さき命を支える微量元素の大きな役割 ～術後・長期管理の盲点：なぜ小児外科医に知識が必要なのか～」

座　長：渕本　康史（国際医療福祉大学　小児外科）

演　者：上原秀一郎（日本大学　医学部　小児外科）

共　催：株式会社大塚製薬工場

ランチョンセミナー 2　12：20 ～ 13：20　第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

「成長・発達段階に応じた短腸症候群の治療戦略」

座　長：増本　幸二（筑波大学医学医療系　小児外科）

演題 1：小児科の視点から考える多職種による包括的ケア

演者 1：工藤　孝広（順天堂大学医学部　小児科学講座）

演題 2：SBS 児のライフステージに応じた診療と支援

演者 2：尾花　和子（帝京平成大学健康メディカル学部　健康栄養学科）

共　催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス

スポンサードセミナー 1　17：55 ～ 18：55　第 2 会場（2F 中会議室 2 ～ 4）

座　長：下島　直樹（国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部　小児外科）

演題 1：細胞を『シートのまま』治療へ ― 細胞シート工学を支える温度応答性培養器材 UpCell®

演者 1：永井　智明（株式会社セルシード　器材事業部門　器材営業部）

演題 2：世界初の小児食道再生医療への挑戦

― 口腔粘膜上皮細胞シートが変える難治性食道吻合部狭窄治療 ―

演者 2：渕本　康史（国際医療福祉大学　小児外科）

共　催：株式会社セルシード

スポンサードセミナー 2　17：05 ～ 18：05　第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

「先天性胃腸障害・消化管術後における栄養管理の現状と今後の展望：プリミーフォートという選択肢」

座　長：渡井　　有（昭和医科大学医学部外科学講座　小児外科学部門）

演　者：水野　克己（昭和医科大学小児科学講座　小児内科学部門）

共　催：クリニジェン株式会社

スポンサードセミナー 3　18：20 ～ 19：20　第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

「鼠径ヘルニア治療の最前線と次世代教育」

座　長：金子健一朗（愛知医科大学病院　消化器外科）

演　者：齊藤　卓也（関西医科大学総合医療センター　上部消化管外科）

共　催：株式会社メディコン

10 月 30 日（金）

ランチョンセミナー 3　12：30 ～ 13：30　第 2 会場（2F 中会議室 2 ～ 4）

「成人食道裂孔ヘルニアに対する手術手技の実際と治療成績」

座　長：佐藤　正人（医学研究所北野病院　小児外科）

演　者：竹村　雅至（社会医療法人景岳会　南大阪病院）

共　催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

ランチョンセミナー 4　12：30 ～ 13：30　第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

「形成外科的思考プロセスからの漏斗胸治療」

座　長：古田　繁行（聖マリアンナ医科大学病院　小児外科）

演　者：野口　昌彦（長野県立こども病院　形成外科）

共　催：ソルブ株式会社

10 月 31 日（土）

ランチョンセミナー 5　12：20 ～ 13：20　第 2 会場（2F 中会議室 2 ～ 4）

「小児外科医のための脈管腫瘍・脈管奇形の最新治療ストラテジー」

座　長：菱木　知郎（千葉大学大学院医学研究院　小児外科学）

演題１：脈管腫瘍・脈管奇形に対する集学的診療

－多診療科カンファレンスを通じた治療選択と小児外科医の役割－

演者１：中畠　賢吾（大阪大学大学院医学系研究科　小児成育外科学教室）

演題２：治療できる時代から、治療を選ぶ時代へ

演者２：加藤　源俊（杏林大学医学部　小児外科）

共　催：ノーベルファーマ株式会社

ランチョンセミナー 6　12：20 ～ 13：20　第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

「腸内細菌を応用した肥満糖尿病の治療と次世代の予防」

座　長：川原　央好（正風病院）

演　者：入江潤一郎（関西医科大学　内科学第二講座　糖尿病・内分泌内科）

共　催：ミヤリサン製薬株式会社

1日目　10月29日(木)

第1会場
2F 一橋講堂

第45回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

9:17～9:22　開会の辞

9:22～10:10
一般演題Ⅰ「胸部」
座長：大片　祐一、吉澤　穣治
O1-1～O1-6

10:10～11:11
要望演題Ⅰ-ⅰ「こどもに優しいcommon diseaseの手術ⅰ」
座長：加治　　建、渡井　　有
RO1-1～RO1-8

11:11～12:10
要望演題Ⅰ-ⅱ「こどもに優しいcommon diseaseの手術ⅱ」
座長：髙見澤　滋、田中　秀明
RO1-9～RO1-16

13:30～14:14
要望演題Ⅱ-ⅰ「私のこだわりⅰ」
座長：家入　里志、福本　弘二
RO2-1～RO2-6

14:14～15:00
要望演題Ⅱ-ⅱ「私のこだわりⅱ」
座長：木下　義晶、古賀　寛之
RO2-7～RO2-12

15:00～15:50
シンポジウム「腹腔鏡下噴門形成術の標準術式」
座長：井上　幹大、川嶋　　寛
SY-1～SY-5

15:55～16:30
一般演題Ⅱ「腹壁/ヘルニア」
座長：石橋　広樹、佐々木隆士　O2-1～O2-5

16:30～17:30
要望演題Ⅲ「ひやりハット症例」
座長：世川　　修、増本　幸二
RO3-1～RO3-8

17:30～18:16
要望演題Ⅳ-ⅰ「re-do手術ⅰ」
座長：藤代　　準、松浦　俊治
RO4-1～RO4-6

18:16～19:00
要望演題Ⅳ-ⅱ「re-do手術ⅱ」
座長：小野　　滋、田中裕次郎
RO4-7～RO4-12

第2会場
2F 中会議場 2～4

第36回日本小児呼吸器外科研究会

9:25～9:30　開会の辞

9:05～9:25　世話人会

9:30～10:20
セッション1「声門・気道」
座長：津川　二郎、尾藤　祐子
S1-1～S1-7

10:25～11:10
セッション2「気胸・膿胸・異物」
座長：藤野　明浩、家入　里志
S2-1～S2-6

11:15～12:10
セッション3「先天性嚢胞性肺疾患」
座長：永田　公二、照井　慶太
S3-1～S3-7

12:20～13:20
ランチョンセミナー1
共催：株式会社大塚製薬工場

13:30～13:55
施設代表者会議

14:00～14:30　教育講演
「成人呼吸器外科の経験を基にした小児呼吸器外科手術の際の注意点」
座長：田尻　達郎

14:35～15:40
ワークショップ1「巨大な嚢胞性肺疾患に対する治療戦略」
座長：小野　　滋、望月　響子
WS1-1～WS1-6

15:45～16:45
ワークショップ2「術式の工夫(区域切除、出血対策、Re-do surgery)」
座長：木下　義晶、藤代　　準
WS2-1～WS2-5

16:50～17:35
セッション4「腫瘍・その他」
座長：上原秀一郎、菱木　知郎
S4-1～S4-6

17:35～17:45　閉会の辞・次期会長挨拶

17:55～18:55
スポンサードセミナー1
共催：株式会社セルシード

第3会場
1F 特別会議室 101～103

第55回日本小児外科代謝研究会

9:25～9:30　開会の辞

9:30～10:00
一般演題1「栄養評価/栄養管理」
座長：上原秀一郎、瓜田　泰久　O1-1～O1-4

10:00～10:45
一般演題2「微量元素・代謝」
座長：千葉　正博、橋詰　直樹
O2-1～O2-6

10:45～11:20
一般演題3「中心静脈カテーテル」
座長：福本　弘二、銭谷　昌弘　O3-1～O3-5

11:20～12:10
一般演題4「腸管不全/栄養管理」
座長：加治　　建、北河　徳彦
O4-1～O4-7

12:20～13:20
ランチョンセミナー2
共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス

13:30～14:00
施設代表者会議

14:00～14:30　研究会企画講演
「Omegaven医師主導治験の現状と課題」
座長：曹　　英樹

14:30～15:20
要望演題「成長を支える栄養療法」
座長：渡辺　稔彦、永田　公二
RS-1～RS-7

15:20～16:20
教育講演「小児消化器疾患の栄養管理と成長発達」
座長：渡邊　美穂

16:20～16:55
一般演題5「合併症・周術期管理」
座長：浅桐　公男、武藤　　充　O5-1～O5-5

17:05～18:05
スポンサードセミナー2
共催：クリニジェン株式会社

18:05～18:10　閉会の辞

18:20～19:20
スポンサードセミナー3
共催：株式会社メディコン

2日目　10月30日 (金)

第 1 会場
2F 一橋講堂

第45回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

9:20 ～ 10:20
第21回小児内視鏡外科手術セミナー
共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

10:30 ～ 11:21
一般演題Ⅲ「肝胆膵脾門脈」
座長：田井中貴久、和田　基
O3-1 ～ O3-7

11:21 ～ 12:20
一般演題Ⅳ「腫瘍」
座長：北河　徳彦、菱木　知郎
O4-1 ～ O4-8

13:40 ～ 14:24
一般演題Ⅴ-ⅰ「消化管ⅰ」
座長：石丸　哲也、曹　英樹
O5-1 ～ O5-6

14:24 ～ 15:15
一般演題Ⅴ-ⅱ「消化管ⅱ」
座長：金子健一朗、渡邊　美穂
O5-7 ～ O5-13

15:15 ～ 16:00
一般演題Ⅴ-ⅲ「消化管ⅲ」
座長：藤野　明浩、渡辺　稔彦
O5-14 ～ O5-19

ポスター会場 (2F ロビー) 16:10 ～ 17:00
ポスターセッション
P1-1 ～ P6-8

17:00 ～ 17:40
一般演題Ⅵ「腎泌尿器」
座長：大橋　研介、宮野　剛
O6-1 ～ O6-5

17:40 ～ 17:50　閉会の辞・次期会長挨拶

第 2 会場
2F 中会議場 2 ～ 4

第82回直腸肛門奇形研究会

9:30 ～ 9:35　開会の辞

9:35 ～ 9:55
事務局報告

10:00 ～ 10:45
要望演題Ⅰ-ⅰ「病型別の長期予後ⅰ」
座長：藤野　明浩、岡島　英明
RS1-1 ～ RS1-5

10:50 ～ 11:35
要望演題Ⅰ-ⅱ「病型別の長期予後ⅱ」
座長：曹　英樹、下島　直樹
RS2-1 ～ RS2-5

11:40 ～ 12:16
一般演題Ⅰ「長期予後・術式比較・合併症」
座長：内田　恵一、加藤　源俊　O1-1 ～ O1-6

12:30 ～ 13:30
ランチョンセミナー 3
共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長：荒　桃子、加藤　源俊　O2-1 ～ O2-2

13:40 ～ 14:10
特別講演
「成人直腸肛門外科の進歩と変わらないもの」
座長：平林　健

14:10 ～ 14:24　一般演題Ⅱ「研究」

14:30 ～ 15:24
要望演題Ⅱ「術式別の長期予後・合併症」
座長：木下　義晶、井上　幹大
RS3-1 ～ RS3-6

15:40 ～ 16:16
一般演題Ⅲ「症例報告ⅰ」
座長：中田　光政、春松　敏夫　O3-1 ～ O3-6

16:20 ～ 16:50
一般演題Ⅳ「症例報告ⅱ」
座長：宮城　久之、齋藤　傑　O4-1 ～ O4-5

16:50 ～ 17:00　閉会の辞

17:05 ～ 17:55
特別委員会報告：医系技官とは

第 3 会場
1F 特別会議室 101 ～ 103

第30回日本小児外科漢方研究会

10:00 ～ 10:05　開会の辞

9:30 ～ 10:00
総会

10:05 ～ 10:35
一般演題　セッション1「水の異常」
座長：伊勢　一哉、渡邉　俊介　O1-1 ～ O1-3

10:35 ～ 11:15
一般演題　セッション2「血の異常」
座長：橋詰　直樹、中畠　賢吾　O2-1 ～ O2-4

11:20 ～ 12:20
特別講演「「救急漢方」の挑む世界～漢方薬の新たな活用法の創出～」
座長：田尻　達郎

12:30 ～ 13:30
ランチョンセミナー 4
共催：ソルブ株式会社

13:40 ～ 14:20
要望演題「臨床研究」
座長：小川　恵子、宮田　潤子
RS-1 ～ RS-4

14:20 ～ 15:00
一般演題　セッション3「消化器症状」
座長：惠紙　英昭、和田　基
O3-1 ～ O3-4

15:05 ～ 15:55
一般演題　セッション4「膿瘍・感染症」
座長：田中　秀明、新開　統子
O4-1 ～ O4-5

15:55 ～ 16:05　閉会の辞・次期会長挨拶

16:30 ～ 17:30　※共通講習 (医療制度と法律)
日本小児外科学会
ワーク・ライフ・バランス検討委員会
講演会

18:30 ～ 20:30
合同懇親会
如水会館 2F スターホール

3日目　10月31日(土)

第42回日本小児外科学会秋季シンポジウム

第1会場（2F 一橋講堂）

9:10～9:15　開会式

9:15～10:10
シンポジウム1「AIナビゲーション手術」
座長：渡辺　稔彦、渡邊　美穂
指定講演①、SY1-1～SY1-4

10:10～11:05
シンポジウム2「ロボット支援手術」
座長：小野　滋、宮野　剛
指定講演②、SY2-1～SY2-4

11:05～12:05
シンポジウム3「VR・AIによる小児外科教育」
座長：家入　里志、曹　英樹
指定講演③、SY3-1～SY3-4

14:10～15:10　※外科領域講習
特別企画①
特別講演1-1　座長：田尻　達郎　演者：田中　桜
特別講演1-2　座長：藤野　明浩　演者：小林　久隆

15:20～16:35
シンポジウム4「再生医療(オルガノイド)」
座長：藤代　準、菱木　知郎
指定講演④、SY4-1～SY4-6

16:35～17:05
特別企画②：ビデオ講演
特別講演2　座長：渕本　康史　演者：河合　達郎

17:05～17:40
シンポジウム5-1「先進技術を利用した小児外科医療①」

17:40～18:15
シンポジウム5-2「先進技術を利用した小児外科医療②」

18:15～18:20　閉会の辞・次期会長挨拶

第2会場（2F 中会議場2～4）

12:20～13:20
ランチョンセミナー5
共催：ノーベルファーマ株式会社

17:05～17:40
座長：木下　義晶、和田　基
SY5-1-1～SY5-1-5

17:40～18:15
座長：加治　建、平林　健
SY5-2-1～SY5-2-5

第3会場（1F 特別会議室101～103）

12:20～13:20
ランチョンセミナー6
共催：ミヤリサン製薬株式会社

座長：石丸　哲也、清水　隆弘
P-1～P-9

ポスター会場（2F ロビー）

9:15～10:30
ポスター貼付

10:30～13:30
ポスター閲覧

13:30～14:00
ポスターセッション

14:00～17:00
ポスター閲覧

17:00～18:00
撤去

第 42 回日本小児外科学会秋季シンポジウム

プログラム・抄録集

会　長：渕本　康史（国際医療福祉大学 小児外科）
会　期：2026 年 10 月 31 日（土）
会　場：第 1 会場（2F 一橋講堂）
テーマ：小児外科領域における最新技術の応用

第 42 回日本小児外科学会秋季シンポジウム

会 長 挨 拶

会長：渕本　康史
国際医療福祉大学 小児外科

このたび、第 42 回日本小児外科学会秋季シンポジウムを、東京都千代田区の一橋大学一橋講堂にて開催させていただくこととなりました。長い伝統を誇る本会を主催できますことを大変光栄に存じますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。開催にあたり多大なるご支援、ご協力を賜りました皆様に、心より御礼申し上げます。

今回のテーマは「小児外科領域における最新技術の応用」です。近年、医療を取り巻く科学技術はかつてない速度で進歩しています。本会では、AI による診断・治療支援、術中ナビゲーション、ロボット支援手術、VR などの新しい技術に加え、再生医療、光免疫療法、異種移植など、今後の医療を大きく変える可能性を持つ分野を取り上げ、それぞれの領域を牽引される国内・外の先生方のご講演と応募演題よりセッションを組みました。これらの先端技術が小児外科の診療・研究・教育をどのように変え、未来の子どもたちに何をもたらすのか、皆様とともに考え、議論する機会にしたいと願っております。

また、一般演題ならびに各研究会にも、例年以上に多くの優れた演題をご応募いただきました。心より感謝申し上げます。抄録を一つひとつ拝読しながら選考を重ねましたが、限られた時間のため、素晴らしい演題でありながらポスター発表をお願いせざるを得なかったものもございました。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

小児外科の使命は、病を治すことだけではなく、子どもたちとそのご家族の笑顔と日常、そして未来を守ることにあります。先端技術への挑戦も、その原点は常に目の前の子どもたちにあります。本会が、新しい知識や技術を学ぶだけでなく、世代や専門領域、施設を越えて語り合い、若い小児外科医に夢と希望を感じてもらえる場となることを願っております。

学術プログラムはもちろん、合同懇親会を含め、皆様に「参加してよかった」と感じていただける学会を目指し、会長一同、心を込めて準備を進めております。

ぜひ多くの皆様にご参集いただき、知を結集し、志を共有しながら、小児外科の新たな未来をともに考える学会にできれば幸いです。東京・一橋講堂で皆様と直接お目にかかれますことを、心より楽しみにしております。

プログラム

10月31日（土） 第1会場（2F 一橋講堂）

開会式　9:10 ～ 9:15

会長：渕本　康史（国際医療福祉大学　小児外科）

シンポジウム 1［AIナビゲーション手術］　9:15 ～ 10:10

座長：渡辺　稔彦（東海大学医学部　小児外科）
渡邊　美穂（大阪大学大学院医学系研究科　小児成育外科）

指定講演①　**蛍光ガイド手術と AI 時代の幕開け**（発表 20 分、質疑 5 分）
吉田　　昌　　六本木ヒルズ桜十字クリニック

SY1-1　**ICG 蛍光ガイドが腹腔鏡下胆道閉鎖症手術の術中判断に与える影響**（発表 5 分、質疑 2 分）
澁谷　聡一　　順天堂大学医学部附属順天堂医院　小児外科・小児泌尿生殖器外科

SY1-2　**小児外科手術における酸素飽和度イメージングの臨床応用は可能か　－症例内比較からみた可能性と限界－**（発表 5 分、質疑 2 分）
出家　亨一　　埼玉県立小児医療センター

SY1-3　**画像解析を用いた腸管蠕動の定量化法の開発**
～手術室での無神経節腸管・移行帯の同定を目指して～（発表 5 分、質疑 2 分）
高見　尚平　　群馬県立小児医療センター

SY1-4　**MIPS を用いた ICG ナビゲーション下に一括切除しえた骨肉腫鼠径リンパ節転移の 1 小児例**
（発表 4 分、質疑 1 分）
藤枝　悠希　　高知大学医学部外科学講座（消化器外科・小児外科学）

シンポジウム 2［ロボット支援手術］　10:10 ～ 11:05

座長：小野　　滋（京都府立医科大学　小児外科）
宮野　　剛（順天堂大学　小児外科・小児泌尿生殖器外科）

指定講演②　**da Vinci SP System による小児先天性総胆管拡張症手術**（発表 25 分、質疑 5 分）
宇山　一朗　　藤田医科大学先端ロボット・内視鏡手術学

SY2-1　**7.8kg の乳児に対する da Vinci SP を用いたロボット支援総胆管拡張症手術の経験**
（発表 4 分、質疑 1 分）
石丸　哲也　　国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部　外科

SY2-2　**Da Vinci SP による単孔式ロボット支援下妊孕性温存卵巣組織保存を施行した一例**
（発表 4 分、質疑 1 分）
岸田　匠平　　大阪市立総合医療センター　小児外科

SY2-3　**当院におけるロボット支援総胆管拡張症手術の導入経験**（発表 4 分、質疑 1 分）
小玉　爽太　　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科学

SY2-4　**先天性胆道拡張症に対するロボット手術の進化：da Vinci Xi から SP へ**（発表 5 分、質疑 2 分）
牧田　　智　　名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学

シンポジウム 3［VR・AI による小児外科教育］ 11:05 ～ 12:05

座長：家入　里志（鹿児島大学　小児外科）
曹　　英樹（川崎医科大学　小児外科）

指定講演③　XR（VR/AR/MR），AI，ロボットと空間的精密手術支援（発表 25 分、質疑 5 分）
杉本　真樹　　帝京大学冲永総合研究所 Innovation Lab ／帝京大学肝胆膵外科／ Holoeyes 株式会社

SY3-1　空間再現ディスプレイの小児外科領域における有用性（発表 5 分、質疑 2 分）
印南　優衣　　東京科学大学病院

SY3-2　深層学習を用いた腸閉塞画像診断支援 AI の開発（発表 5 分、質疑 2 分）
滝本愛太朗　　名古屋大学大学院医学系研究科　小児外科学

SY3-3　VR 技術を活用した小児内視鏡手術の術前シミュレーションシステムの開発
（発表 5 分、質疑 2 分）
山木　聡史　　東海大学小児外科

SY3-4　Vibe coding を活用した小児外科知識検索支援システムの開発（発表 5 分、質疑 2 分）
野口　侑記　　大阪母子医療センター小児外科

特別企画①　14:10 ～ 15:10

（日本専門医機構認定・外科領域講習の単位が付与されます）

特別講演 1-1　厚生労働省医系技官が担う研究開発業務について　～基礎研究から社会実装まで～
（発表 25 分、質疑 5 分）
座長：田尻　達郎　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野
演者：田中　　桜　日本医療研究開発機構（AMED）

特別講演 1-2　光免疫療法（近赤外光線免疫療法）の応用（発表 25 分、質疑 5 分）
座長：藤野　明浩　慶應義塾大学医学部外科学（小児）
演者：小林　久隆　米国国立がん研究所／関西医科大学附属光免疫学研究所

シンポジウム 4［再生医療（オルガノイド）］ 15:20 ～ 16:35

座長：藤代　　準（東京大学　小児外科）
菱木　知郎（千葉大学大学院医学研究院　小児外科学）

指定講演④　ミニ腸による小児腸管上皮機能の再構築 ― 腸管 tuft cell 研究から見えるヒト特異的な粘膜応答 ―（発表 25 分、質疑 5 分）
阿久津英憲　　国立成育医療研究センター研究所

SY4-1　自己組織再生により成長に追随する横隔膜再建用パッチ素材の実用化研究
（発表 5 分、質疑 2 分）
照井　慶太　　自治医科大学　外科学講座　小児外科部門

SY4-2　腸管オルガノイド移植による新たな治療戦略（発表 5 分、質疑 2 分）
遠藤　龍眞　　東北大学病院小児外科 / 慶應義塾大学医学部医化学

SY4-3　組織工学を用いた食道の再生医療：自家細胞由来食道グラフト移植（発表 5 分、質疑 2 分）
山田　耕嗣　　鹿児島大学学術研究院　医歯学域医学系　小児外科学分野

SY4-4 **ダイレクトリプログラミングによるヒト皮膚線維芽細胞からの腱様細胞作製－転写因子の最適化と三次元培養－**（発表 5 分、質疑 2 分）
小西　　快　　京都府立医科大学小児外科学 / 京都府立医科大学免疫学

SY4-5 **抗腫瘍薬内包 ICG 誘導体修飾リポソームを用いた肝腫瘍に対する光線力学療法と低用量化学療法の統合治療戦略**（発表 5 分、質疑 2 分）
小松　秀吾　　千葉大学大学院医学研究院小児外科学

SY4-6 **再発 / 難治性小児固形悪性腫瘍に対する他家 NK 様細胞 GAIA-102 療法**（発表 5 分、質疑 2 分）
川久保尚徳　　九州大学小児外科

特別企画②：ビデオ講演　16:35 ～ 17:05

座長：渕本　康史（国際医療福祉大学　小児外科）

特別講演 2 **遺伝子改変ブタからの腎移植～基礎から臨床**
河合　達郎　　Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School

シンポジウム 5-1［先進技術を利用した小児外科医療①］　17:05 ～ 17:40

（発表 5 分、質疑 2 分）
座長：木下　義晶（新潟大学　小児外科）
和田　　基（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野・東北大学病院総合外科（小児外科））

SY5-1-1 **小児外科領域における同種凍結静脈グラフト（ホモグラフト）の使用―当院 2 例の経験―**
鈴木　　完　　東京大学小児外科

SY5-1-2 **リキッドバイオプシーによる移植臓器障害診断法の開発**
山田　洋平　　慶應義塾大学外科

SY5-1-3 **小児外科医療の未来を拓く融合の力 ― 北里大学外科学の実践と挑戦 ―**
渡辺栄一郎　　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科

SY5-1-4 **人工胎盤・人工子宮 EXTEND system が切り拓く小児医療**
小坂征太郎　　順天堂大学附属順天堂医院　小児外科・小児泌尿生殖器外科 /Center for Fetal Research, Children's Hospital of Philadelphia

SY5-1-5 **嚢胞状リンパ管奇形に対する NIR-PIT 療法の検討**
山岸　徳子　　慶應義塾大学医学部外科学（小児）

シンポジウム 5-2［先進技術を利用した小児外科医療②］　17:40 ～ 18:15

（発表 5 分、質疑 2 分）
座長：加治　　建（久留米大学　医学部外科学講座　小児外科部門）
平林　　健（弘前大学医学部附属病院　小児外科）

SY5-2-1 **ポートを減らす、自由度は減らさない。～ Reduced Port Surgery と多関節鉗子～**
皆尺寺悠史　　大分大学医学　消化器・小児外科

SY5-2-2 **次世代の外科技術と小児外科の未来～医療×エンジニアリングで切り拓く～**
小坂太一郎　　長崎大学　外科学講座　腹部・移植再生外科

SY5-2-3 **腹腔鏡下再掻把・肝門部空腸再吻合術において多関節鉗子を使用した一例**
月原　知輝　　順天堂大学医学部附属順天堂医院小児外科・小児泌尿器生殖器外科

SY5-2-4 新生児多用途細径膀胱鏡の開発－前臨床評価のための新生児骨盤モデルの製作－
神保　教広　　獨協医科大学　とちぎ子ども医療センター　小児外科

SY5-2-5 開発中の超細径ファイバースコープと既存機器の解像度についての比較検討
青山　統寛　　筑波大学　医学医療系　小児外科

閉会の辞・次期会長挨拶

18:15 ～ 18:20

会長：渕本　康史（国際医療福祉大学　小児外科）
次回会長：加治　　建（久留米大学　医学部外科学講座　小児外科部門）

10 月 31 日（土）　第 2 会場（2F 中会議場 2 ～ 4）

ランチョンセミナー 5

12:20 ～ 13:20

共催：ノーベルファーマ株式会社

10 月 31 日（土）　第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

ランチョンセミナー 6

12:20 ～ 13:20

共催：ミヤリサン製薬株式会社

10 月 31 日（土） ポスター会場（2F　ロビー）

ポスターセッション　13:30 ～ 14:00

（発表 2 分、質疑 1 分）

座長：石丸　哲也（国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部外科）
清水　隆弘（国際医療福祉大学成田病院　小児外科）

P-1　わたしたちの診療、研究、教育での生成 AI の実践的利活用の現状
高安　肇　北里大学　医学部　一般・小児・肝胆膵外科

P-2　限局型先天性高インスリン血症 3 例に対する診断・治療の経験
松寺翔太郎　東京科学大学病院　小児外科

P-3　YouTube 上の在宅静脈栄養（HPN）に関する日本語動画の安全管理内容と情報品質
後藤　悠大　筑波大学　医学医療系　小児外科

P-4　成人外科技術との融合による小児高度低侵襲手術の治療戦略
高橋　正貴　東邦大学医療センター大森病院小児外科

P-5　術前診断し腹腔鏡手術で摘出した小児副脾捻転の 1 例
坂本　達哉　安城更生病院

P-6　鋭利な筆記用具の異物誤飲の一例
坂元　直哉　筑波大学医学医療系小児外科

P-7　小腸軸捻転で発症し緊急手術を要した小腸原発リンパ管奇形の一例
嶋村　藍　京都中部総合医療センター　小児外科

P-8　ICG 蛍光ナビゲーションによる多発リンパ漏出部位のリアルタイム可視化―進行腎芽腫術後難治乳び腹水の 1 例―
山本　裕輝　国立成育医療研究センター外科

P-9　ICG 蛍光胆道造影を基盤とした希少小児外科疾患研究に対する eConsent の応用
石井　宏樹　名古屋大学大学院　小児外科学

第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

プログラム・抄録集

会　長：佐藤　正人（医学研究所北野病院 小児外科）
会　期：2026 年 10 月 29 日（木）・30 日（金）
会　場：第 1 会場（2F 一橋講堂）
テーマ：こどもにやさしい手術を目指して―小児外科医の原点に立ち返る

第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会

会 長 挨 拶

会長：佐藤　正人
医学研究所北野病院 小児外科

このたび、第 45 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会を開催させていただくこととなり、大変光栄に存じます。伝統ある本研究会を一般病院の小児外科が担当させていただくことを、身に余る光栄と感じております。

今回のテーマは、「こどもにやさしい手術を目指して―小児外科医の原点に立ち返る」といたしました。

われわれ小児外科医は、常にこどもの未来を見据えた手術を目指してきました。疾患の根治性を追求することはもちろん、手術に伴うこどもの肉体的・精神的苦痛を少しでも軽減するため、さまざまな努力を重ねてまいりました。近年では、従来の開胸・開腹手術に加え、内視鏡外科手術、さらにはロボット支援手術が導入され、多くの疾患において複数のアプローチから術式を選択できる時代となっています。

一方で、選択肢が増えた今だからこそ、私たちは一度立ち止まり、「こどもにとって本当に最良の術式とは何か」を改めて考える必要があるのではないでしょうか。本研究会では、小児外科医としての原点に立ち返り、根治性、安全性、低侵襲性、整容性、さらにはこどもの長期的な成長や QOL までを見据えながら、「こどもにやさしい手術」とは何かについて、活発に議論していただきたいと考えております。

今回、要望演題として以下の 7 つのテーマを設定いたしました。

1. 腹腔鏡下噴門形成術の標準術式
2. こどもにやさしい common disease の手術
3. 各疾患における術式選択の基準―従来法、内視鏡外科手術、ロボット支援手術
4. Reduced port surgery の是非
5. Re-do 手術
6. 私のこだわり―手術手技・機器・器材等のこだわり
7. ひやりハット症例

皆様から要望演題・一般演題を合わせて、過去最多となる 148 演題をご登録いただき、心より御礼申し上げます。

また、要望演題の中から「腹腔鏡下噴門形成術の理論」をテーマとしたシンポジウムを企画いたしました。広く行われている腹腔鏡下噴門形成術について、その理論的根拠を改めて見つめ直し、術式の本質について議論する機会となれば幸いです。さらに、日々の診療の中で得られた工夫や経験、ひやりハットから得られた教訓など、さまざまな視点からの発表を通じて、こどもの立場に立った活発な討論が行われることを期待しております。

皆様の発表時間と討論時間を十分に確保するため、昨年に引き続き、口演とポスターの 2 形式での発表といたしました。本研究会での議論が、明日からの小児外科診療や手術手技の向上につながり、ひいてはこどもたちによりよい医療を届ける一助となれば、これほど嬉しいことはありません。

本研究会が、こどもにとってよりよい手術とは何かを皆様とともに考え、小児外科医としての原点を再確認するとともに、今後の小児外科医療のさらなる発展につながる実り多い会となることを願っております。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

プログラム

10 月 29 日（木） 第 1 会場（2F 一橋講堂）

開会の辞　9:17 ～ 9:22

会長：佐藤　正人（医学研究所北野病院　小児外科）

一般演題 I ［胸部］　9:22 ～ 10:10

（発表 6 分、質疑 2 分）

座長：大片　祐一（神戸大学医学部附属病院　小児外科）
吉澤　穣治（昭和医科大学江東豊洲病院　小児外科）

O1-1　小児肺分画症における肺葉内型と肺葉外型の比較を中心とした臨床像と手術成績：東アジア多施設後方視的研究
西田ななこ　　鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系　小児外科学分野

O1-2　左肺分画症術中出血に対する緊急止血手技：症例報告
中村　弘樹　　関西医科大学　小児外科

O1-3　左 CPAM と気管分岐下気管支原性嚢胞に対する左胸腔鏡補助下一期的切除の 1 例
中村　有佑　　淀川キリスト教病院　小児外科

O1-4　後縦隔腫瘍に対し da Vinci SP を用いて肋骨弓下単孔式摘出術を施行した 1 例
松下　航平　　三重大学医学部附属病院　消化管・小児外科

O1-5　当院における漏斗胸手術の工夫
井上　広海　　医学研究所北野病院　小児外科

O1-6　食道閉鎖症術後胸郭変形に対する胸部 X 線写真を用いた定量的放射線学的評価
石井麟太郎　　鹿児島大学　小児外科

要望演題 I - i ［こどもに優しい common disease の手術 i ］　10:10 ～ 11:11

座長：加治　　建（久留米大学　医学部外科学講座　小児外科部門）
渡井　　有（昭和医科大学　小児外科）

RO1-1　腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術（LPEC 法）における日帰り手術は子どもにやさしいか？
（発表 5 分、質疑 2 分）
岩上　泰士　　静岡県立こども病院

RO1-2　当センターでの外来出し手術の取り組み　～こどもと家族にやさしい医療を目指して～
（発表 6 分、質疑 2 分）
森　禎三郎　　東京都立小児総合医療センター　外科

RO1-3　LPEC における二酸化炭素送気量の検討（発表 6 分、質疑 2 分）
白井　　剛　　宮崎県立宮崎病院　小児外科

RO1-4　1.9mm NanoNeedle Scope を用いた小児腹腔鏡手術における手技の工夫
（発表 5 分、質疑 2 分）
生田　　稜　　大分大学医学部　消化器・小児外科学講座

RO1-5　小児虫垂炎に対する reduced-port surgery ―経臍腹腔鏡補助下虫垂切除術の段階的戦略―
（発表 6 分、質疑 2 分）
吉野　優作　　東京女子医科大学八千代医療センター　小児外科

RO1-6 **当科における単孔式腹腔鏡補助下虫垂切除術についての検討**（発表 5 分、質疑 2 分）
吉田真理子　　日本赤十字社医療センター　小児外科

RO1-7 **こどもに優しい胃瘻造設術－至適手術時期の検討－**（発表 6 分、質疑 2 分）
園田　真理　　医学研究所北野病院　小児外科

RO1-8 **小児におけるバンパー型胃瘻ボタン（イディアルボタン ZERO）を用いた腹腔鏡下胃瘻造設術**（発表 6 分、質疑 2 分）
辻　　由貴　　自治医科大学　とちぎ子ども医療センター　小児外科

要望演題Ⅰ-ⅱ［こどもに優しい common disease の手術 ii］ 11:11 ～ 12:10

座長：髙見澤　滋（長野県立こども病院　小児外科）
田中　秀明（福島県立医科大学附属病院　小児外科）

RO1-9 **こどもにやさしい舌根部嚢胞治療を目指して**
―新生児・乳児期に発症した舌根部嚢胞 3 例の治療経験から―（発表 5 分、質疑 2 分）
藤岡　優奈　　東京慈恵会医科大学　医学部医学科

RO1-10 **臍内くりぬき方法による尿膜管遺残症の根治術**（発表 5 分、質疑 2 分）
鷭久士保利　　聖マリア病院　小児外科

RO1-11 **肥厚性幽門狭窄症手術における臍部 3 枚皮弁切開アプローチの有用性についての検討**
（発表 5 分、質疑 2 分）
村田　結衣　　あいち小児保健医療総合センター

RO1-12 **当科で施行している乳児肥厚性幽門狭窄症に対する腹腔鏡下幽門筋切開術**
（発表 6 分、質疑 2 分）
石川　暢己　　福井県立病院　小児外科

RO1-13 **小児 S 状結腸過長症に対する腹腔鏡下 S 状結腸切除術にて経肛門的に標本を摘出した一例**
（発表 5 分、質疑 2 分）
木寺　祐貴　　佐世保市総合医療センター

RO1-14 **慢性便秘症に対する外科治療：結腸切除と盲腸瘻造設を併施した 2 症例**（発表 5 分、質疑 2 分）
吉田　志帆　　茨城県立こども病院　小児外科

RO1-15 **当科における翼状陰茎手術**（発表 6 分、質疑 2 分）
瓜田　泰久　　筑波大学　医学医療系

RO1-16 **経尿道的尿管瘤穿刺術における工夫：超音波ガイド下 water-can 穿刺法**（発表 6 分、質疑 2 分）
惠畑　　優　　順天堂大学医学部附属順天堂医院　小児外科・小児泌尿生殖器外科

要望演題Ⅱ-ⅰ［私のこだわり ⅰ］ 13:30 ～ 14:14

座長：家入　里志（鹿児島大学　小児外科）
福本　弘二（静岡県立こども病院　外科（小児外科・成育外科））

RO2-1 **糸を 2 本把持した LPEC ～精管と精巣動静脈をどう乗り越える～**（発表 5 分、質疑 2 分）
岩出　珠幾　　医学研究所北野病院　小児外科

RO2-2 **小児 de novo 型外鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡手術～滑脱組織の剥離手技について～**
（発表 5 分、質疑 2 分）
三谷　泰之　　和歌山県立医科大学　外科学第 2 講座

RO2-3 **漏斗胸に対するオプティカル法を利用した胸膜外 Nuss 法**（発表 6 分、質疑 2 分）
山根　裕介　　佐世保市総合医療センター

RO2-4 **BiSect を用いた Non-stapling technique による胸腔鏡下肺ブラ切除術の 1 例**
（発表 5 分、質疑 2 分）
舩原　光真　　長崎大学大学院外科学講座　小児外科

RO2-5 **小児巨大脾嚢胞に対する腹腔鏡下脾部分切除術―Vessel Sealing Device（LigaSure™）による脾実質切離―**（発表 5 分、質疑 2 分）
山道　　拓　　NHO 福山医療センター　小児外科・小児泌尿器科

RO2-6 **当科における Dome Port™ を用いた腹腔鏡下脾臓摘出術**（発表 6 分、質疑 2 分）
廣畑　吉昭　　大阪医科薬科大学　一般・消化器外科

要望演題Ⅱ-ii［私のこだわり ii］　14:14 ～ 15:00

座長：木下　義晶（新潟大学　小児外科）
古賀　寛之（東京医科大学　消化器・小児外科学分野）

RO2-7 **当科における膵胆管合流異常症における肝管空腸吻合におけるこだわりとその結果**
（発表 6 分、質疑 2 分）
幸地　克憲　　東京女子医科大学　八千代医療センター　小児外科

RO2-8 **小児後腹膜腫瘍に対する ArtiSential®（多関節鉗子）の使用経験**（発表 6 分、質疑 2 分）
鶴野　雄大　　神戸大学医学部附属病院　小児外科

RO2-9 **一般向けウェアラブルカメラを用いた開放手術術者視点動画の有用性**（発表 5 分、質疑 2 分）
小嶋　重光　　日本赤十字社医療センター　小児外科

RO2-10 **顕微鏡下精索静脈低位結紮術における私のこだわり**（発表 6 分、質疑 2 分）
城之前　翼　　宮城県立こども病院　泌尿器科

RO2-11 **尿道下裂修復術導入初期 3 年間の経験**（発表 5 分、質疑 2 分）
小林めぐみ　　NHO 栃木医療センター　小児外科小児泌尿器科

RO2-12 **今後の展望を見据えた当科における腹腔鏡下 Lich-Gregoir 法**（発表 6 分、質疑 2 分）
服部　健吾　　大阪市立総合医療センター　小児泌尿器科

シンポジウム［腹腔鏡下噴門形成術の標準術式］　15:00 ～ 15:50

（発表 7 分、質疑 3 分）

座長：井上　幹大（藤田医科大学　小児外科）
川嶋　　寛（埼玉県立小児医療センター　小児外科）

SY-1 **胃食道逆流症における噴門形成術について**
古賀　寛之　　東京医科大学　消化器・小児外科学分野

SY-2 **迷走神経肝枝の尾側からの食道背側の剥離とテーピング**
福澤　宏明　　医学研究所北野病院　小児外科

SY-3 **wrap の位置・wrap の長さと締め付け具合（Nissen 法）**
田中裕次郎　　埼玉医科大学　小児外科

SY-4 **腹腔鏡下 Toupet 噴門形成術―内視鏡技術認定審査基準から考える標準術式―**
矢本　真也　　大阪市立総合医療センター　小児外科

SY-5　**腹腔鏡下噴門形成術　～横隔膜脚・食道裂孔の剥離と同定～**
渡辺　稔彦　　東海大学医学部　小児外科

一般演題Ⅱ［腹壁 / ヘルニア］　15:55 ～ 16:30

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：石橋　広樹（徳島大学病院　小児外科・小児内視鏡外科）
佐々木隆士（奈良県総合医療センター　小児外科）

O2-1　**Abdominoscrotal hydrocele に対する腹腔鏡下手術の経験**
工藤　裕実　　東京都立小児総合医療センター

O2-2　**de novo 型が疑われた鼠径ヘルニアを呈した 6 歳男児の 1 例**
木藤　寛敬　　滋賀医科大学　消化器・一般外科学講座

O2-3　**Nuck 管水腫に対する 8K-LPEC はオーバースペックか？―自験例に基づく適応の考察―**
松本　　陽　　旭川医科大学　外科学講座　小児外科

O2-4　**巨大臍帯ヘルニア 4 例に対する閉鎖時期と腹壁閉鎖法の検討**
石井　惇也　　順天堂大学医学部附属浦安病院　小児外科

O2-5　**自発呼吸下に開胸腫瘍生検を NUT carcinoma の一例**
冨岡雄一郎　　兵庫県立こども病院　小児外科

要望演題Ⅲ［ひやりハット症例］　16:30 ～ 17:30

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：世川　　修（東京女子医科大学病院　小児外科）
増本　幸二（筑波大学医学医療系　小児外科）

RO3-1　**食道閉鎖症に対する根治手術中に生じた気管損傷**
東間　未来　　茨城県立こども病院　小児外科

RO3-2　**腹腔鏡下噴門形成術中のネイサンソンフックレバーリトラクターによる肝損傷の 1 例**
吉村　翔平　　兵庫県立こども病院　小児外科

RO3-3　**有嚢性先天性横隔膜ヘルニアの胸腔鏡下修復術における Pitfall：脾損傷による大量出血を呈した 1 例**
保坂　　英　　順天堂大学医学部附属順天堂医院　小児外科・小児泌尿生殖器外科

RO3-4　**Buffalo chest を認めた Nuss 法術後の 1 例―肺のう胞を軽視すべからず―**
岩出　珠幾　　医学研究所北野病院

RO3-5　**溶血性尿毒症症候群罹患後、診断治療に苦慮した小腸炎の影響と思われる癒着性イレウスの 1 例**
猪熊　卯月　　県立広島病院　初期研修医

RO3-6　**先天性十二指腸狭窄症術後の ED チューブ留置中に小腸重積をきたした 1 例**
中島　啓吾　　県立広島病院　小児外科

RO3-7　**出生後早期に腸管穿孔を来し急激な転帰をたどった Hirschsprung 病の 1 例**
髙野　祥一　　茨城県立こども病院　小児外科

RO3-8　**急速増大に伴う腫瘍出血に対する酸化再生セルロース製剤を用いた止血アプローチ**
清水　裕史　　福島県立医科大学附属病院　小児外科

要望演題Ⅳ- i ［re-do 手術 i ］ 17:30 ～ 18:16

座長：藤代　準（東京大学　小児外科）
松浦　俊治（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）

RO4-1 **胃瘻再造設における Witzel 法の有用性**（発表 6 分、質疑 2 分）
高橋　信博　東京都立小児総合医療センター　外科

RO4-2 **小児の腹腔鏡下噴門再形成術後に再々手術を施行した 2 症例の検討**（発表 6 分、質疑 2 分）
髙城翔太郎　埼玉県立小児医療センター　外科

RO4-3 **噴門形成術後再発症例に対する腹腔鏡下再手術**（発表 6 分、質疑 2 分）
溝上　優美　医学研究所北野病院　小児外科

RO4-4 **VACTERL 連合を伴う先天性食道閉鎖症に対する Re-do Gastric Transposition の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
畑中　良太　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

RO4-5 **胸腔鏡下縦隔腫瘍切除後に横隔神経麻痺と気管軟化症状の増悪をきたし胸腔鏡下に複数回再手術を要した症例**（発表 6 分、質疑 2 分）
植村光太郎　はりま姫路総合医療センター

RO4-6 **先天性食道閉鎖症術後の気管食道瘻再開通に硬性・軟性気管支鏡併用下トリクロロ酢酸焼灼術を施行した 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
橋本　昌俊　東北大学　総合外科（小児外科）

要望演題Ⅳ- ii ［re-do 手術 ii ］ 18:16 ～ 19:00

座長：小野　滋（京都府立医科大学　小児外科）
田中裕次郎（埼玉医科大学　小児外科）

RO4-7 **LPEC 後の鼠経ヘルニア術後慢性疼痛（CPIP）に対し、Advanced-LPEC に準じた手法で再手術を行った 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
松久保　眞　鹿児島大学医学部附属病院　小児外科

RO4-8 **Lynn 法術後 Hirschsprung 病に対し腹腔鏡補助下 endorectal pull-through を施行した成人例**（発表 5 分、質疑 2 分）
橋詰　直樹　久留米大学医学部　外科学講座小児外科部門

RO4-9 **Hirschsprung 病に対する腹腔鏡下再手術の長期成績**（発表 6 分、質疑 2 分）
溝上　優美　医学研究所北野病院　小児外科

RO4-10 **直腸会陰皮膚瘻に対する re-do 手術として laparoscopic assisted endorectal pull-through with PSARP を行った 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
中谷　太一　兵庫県立こども病院　小児外科

RO4-11 **腎盂尿管移行部狭窄に対する尿管吻合術に使用した非吸収糸を起因とする反復性尿管結石の 1 例**（発表 6 分、質疑 2 分）
藤野　順子　岩手医科大学　外科学講座

RO4-12 **PRETEXT-IV 肝芽腫に対する肝切除判断とサルベージ肝移植の成績**（発表 5 分、質疑 2 分）
松浦　俊治　九州大学　小児外科

一般演題Ⅲ［肝胆膵脾門脈］ 10:30 ～ 11:21

座長：田井中貴久（名古屋大学大学院　小児外科学）
和田　基（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野・東北大学病院総合外科（小児外科））

O3-1 **全身性リンパ管腫症の腹腔内硬化療法・開腹術後の高度癒着下で ICG により安全な開腹と胆嚢摘出を施行した 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
飛田　壮貴　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科

O3-2 **小児膵頭部充実性偽乳頭状腫瘍に対して ICG 蛍光法を併用し腹腔鏡下核出術を施行した 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
濱崎　祐　新潟大学医歯学総合病院　小児外科

O3-3 **脾門部個別処理を用いた腹腔鏡下脾臓摘出術の手技的検討―遺伝性球状赤血球症の 1 例と当院経験―**（発表 5 分、質疑 2 分）
吉川　侑吾　福井県立病院　小児外科

O3-4 **左開胸開腹アプローチにて脾臓摘出術を施行した生体肝移植後脾腫の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
平田　義弘　埼玉県立小児医療センター　移植外科

O3-5 **先天性門脈体循環短絡に対する腹腔鏡下シャント血管半閉鎖術の検討**（発表 6 分、質疑 2 分）
石川　亜美　慶應義塾大学病院　外科学（小児）

O3-6 **胎児診断された先天性胆道拡張症に対する術式選択をどうするか**（発表 6 分、質疑 2 分）
澁谷　聡一　順天堂大学医学部附属順天堂医院　小児外科・小児泌尿生殖器外科

O3-7 **当科におけるロボット支援下胆道拡張症手術について**（発表 5 分、質疑 2 分）
宮内　玄徳　神戸大学大学院医学研究科　外科学講座小児外科学分野

一般演題Ⅳ［腫瘍］ 11:21 ～ 12:20

座長：北河　徳彦（神奈川県立こども医療センター　外科）
菱木　知郎（千葉大学大学院医学研究院　小児外科学）

O4-1 **小児がんに対する腹腔鏡・O-arm を用いた陽子線治療用吸収性スペーサー留置術の導入経験**（発表 5 分、質疑 2 分）
岡野　寛　岡山大学病院　小児外科

O4-2 **新生児仙尾部奇形腫に対し、開脚仰臥位で体位変換を行わず腹腔鏡補助下切除を施行した 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
山根　悠揮　順天堂大学医学部附属静岡病院

O4-3 **胆道圧排による閉塞性黄疸を呈した新生児後腹膜未熟奇形種の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
古賀　翔馬　筑波大学附属病院　小児外科

O4-4 **両側同時発生した褐色細胞腫に対して両側副腎全摘を行った一例**（発表 5 分、質疑 2 分）
高野　周一　鳥取大学医学部　消化器・小児外科学

O4-5 **巨大頚部奇形腫に対する Viewtify® を用いた術前 3D 画像解析が有用であった 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
瀧口　翔太　国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部　外科

O4-6 **下大静脈全域・右心房心室・肺動脈に存在する腫瘍栓を循環停止下に開胸開腹で摘出した左腸骨原発肉腫の 1 例**（発表 6 分、質疑 2 分）
高間　勇一　大阪市立総合医療センター　小児外科

O4-7 **右肺上葉粘表皮癌に対し，体外循環管理下で肺全摘術を施行した一例**（発表 5 分、質疑 2 分）
山口　修輝　　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

O4-8 **全国症例調査データにより導出される重症・難治性リンパ管奇形の客観診断指標**
（発表 6 分、質疑 2 分）
武井　啓剛　　慶應義塾大学医学部　小児外科

一般演題Ⅴ- i ［消化管 i ］ 13:40 ～ 14:24

座長：石丸　哲也（国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部外科）
曹　　英樹（川崎医科大学　小児外科）

O5-1 **胸腔鏡下食道閉鎖症手術における細径 Transanastomotic tube を用いた食道吻合の工夫**
（発表 5 分、質疑 2 分）
三村　和哉　　京都府立医科大学　小児外科

O5-2 （演題取下げ）

O5-3 **腹部食道バンディング後の食道離断に対し胸腔鏡下下部食道剥離を先行した観音開き法再建の 1 例**（発表 6 分、質疑 2 分）
髙田　光希　　岡山大学病院卒後臨床研修センター / 岡山大学病院　小児外科

O5-4 **Long-gap 食道閉鎖症に対し Extensive Mobilization による Internal Traction が二期的食道吻合に有用であった 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
岩元祐実子　　鹿児島大学　小児外科

O5-5 **噴門形成術後の胃食道逆流症 2 例に対する腹腔鏡下再手術の経験**（発表 5 分、質疑 2 分）
吉田　美奈　　埼玉医科大学病院

O5-6 **右側胃を伴う内臓錯位症候群 3 例に対する腹腔鏡下噴門形成術**（発表 6 分、質疑 2 分）
谷本　光隆　　岡山大学病院　小児外科

一般演題Ⅴ- ii ［消化管 ii ］ 14:24 ～ 15:15

座長：金子健一朗（愛知医科大学　医学部消化器外科（小児外科））
渡邊　美穂（大阪大学大学院医学系研究科　小児成育外科）

O5-7 **上部消化管内視鏡補助下に腹腔鏡手術で摘出し得た幽門前異所性膵の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
村上　紫津　　兵庫県立こども病院

O5-8 **経皮的内視鏡下胃内手術（PEIGS）により幽門機能を温存し得た幽門近傍小児胃 GIST の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
川見　明央　　筑波大学医学医療系　小児外科

O5-9 **上部消化管内視鏡による整復術と腹腔鏡下胃および脾固定術を一期的に施行した急性胃軸捻転症の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
長田虎二郎　　筑波大学附属病院　小児外科

O5-10 **胃の頭側偏位を伴う難治性胃瘻周囲炎に対し経肋間胃瘻造設術が有用であった重症心身障碍児の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
須田　彩月　　旭川医科大学　外科学講座　小児外科 / 砂川市立病院　研修医

O5-11 **難治性胃瘻孔遺残に対してアルゴンプラズマ凝固およびクリッピングによる内視鏡的閉鎖を施行した 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
飛田　壮貴　　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科

O5-12 **当院のストーマダイレータを用いた上部消化管内視鏡併用腹腔鏡下胃瘻造設術の短期成績；従来法との比較**（発表 6 分、質疑 2 分）
柿原　　知　　東京大学　小児外科

O5-13 **小児腸回転異常症に対する開腹 Ladd 手術後の癒着性腸閉塞に関する検討**（発表 6 分、質疑 2 分）
田中　　尚　　土浦協同病院

一般演題Ⅴ-ⅲ［消化管ⅲ］　15:15 ～ 16:00

座長：藤野　明浩（慶應義塾大学　医学部外科学（小児））
渡辺　稔彦（東海大学　医学部小児外科学）

O5-14 **先天性高位空腸狭窄症に対して腹腔鏡下ダイヤモンド型空腸空腸吻合術を施行した 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
梶原　啓資　　神戸大学医学部附属病院　小児外科

O5-15 **新生児消化管穿孔に対するドレナージ術の意義について**（発表 6 分、質疑 2 分）
櫻井　　毅　　宮城県立こども病院　外科 / 東北大学病院　総合外科（小児外科）

O5-16 **当院における腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術～骨盤解剖の理解に基づいた鏡視下手技～**（発表 6 分、質疑 2 分）
棗原　　寛　　東京医科大学　消化器・小児外科学分野

O5-17 **Endoscopically-guided percutaneous anorectoplasty（ePARP）を施行した直腸肛門奇形の 2 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
田中　聡志　　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科学

O5-18 **男児中間位鎖に対する LAARP における近赤外線蛍光尿道ナビゲーションの経験**（発表 5 分、質疑 2 分）
宇賀菜緒子　　国立病院機構　福山医療センター　小児外科・小児泌尿器科

O5-19 **地理的制約が小児急性虫垂炎治療に及ぼす影響 ー 離島・へき地を有する鹿児島県における待機的虫垂切除の検討**（発表 6 分、質疑 2 分）
福永　将平　　鹿児島大学　小児外科

一般演題Ⅵ［腎泌尿器］　17:00 ～ 17:40

座長：大橋　研介（埼玉県立小児医療センター　泌尿器科）
宮野　　剛（順天堂大学　小児外科・小児泌尿生殖器外科）

O6-1 **捻転解除術後に腹腔鏡下に温存を確認し得た小児正常卵巣捻転の 1 例**（発表 6 分、質疑 2 分）
坂野　慎哉　　岐阜大学　消化器外科・小児外科 / 岐阜県総合医療センター　小児外科

O6-2 **外陰部正中に生じた非典型的上皮性管腔病変の 2 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
矢下　博輝　　昭和医科大学江東豊洲病院　小児外科

O6-3 **小児悪性腫瘍における妊孕性温存のための腹腔鏡下卵巣切除術**（発表 6 分、質疑 2 分）
梅田　　聡　　兵庫医科大学　小児外科

O6-4 **1 歳児に対する腹腔鏡下膀胱外逆流防止術の初期成績と術式特性**（発表 6 分、質疑 2 分）
益子　貴行　　茨城県立こども病院

O6-5　**成人泌尿器科との協働による小児ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術の導入と初期成績**
（発表 5 分、質疑 2 分）

笈田　　諭　　千葉大学大学院医学研究院　小児外科学

閉会の辞・次期会長挨拶　17:40 ～ 17:50

ポスターセッション Ⅰ［腹壁その他］ 16:10 ～ 17:00

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：田附　裕子（兵庫医科大学　消化器外科学小児外科）
中岡　達雄（大阪公立大学　医学部小児外科）

P1-1 LPEC 法の手術時間延長に影響する因子に関する統計的解析
東尾　篤史　医学研究所北野病院

P1-2 新生児モルガニー孔ヘルニアに対するパッチ修復に経腹壁固定を併用した腹腔鏡下修復術の 1 例
人見　浩介　倉敷中央病院　外科小児外科 /NPO 法人中国四国小児外科医療支援機構

P1-3 肝脱出を伴う巨大臍帯ヘルニアに対し tissue expander を用いた多段階腹壁閉鎖を行った一例
山田　舜介　茨城県立こども病院

P1-4 臍帯嚢胞根治術後の臍変形に対し梶川法により臍形成術を行なった 1 例
野村　皓三　金沢大学附属病院　小児外科

P1-5 巨大臍帯ヘルニアに対して筋膜減張切開を要さず直接腹壁閉鎖した一例
瀧口　翔太　国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部外科

P1-6 鼠径ヘルニア手術を契機に診断された良性腹膜中皮腫の 1 例
駒橋　　充　茨城県立こども病院　小児外科

P1-7 腹部打撲により十二指腸と穿通し膿瘍化した後腹膜リンパ管腫の 1 例
入江　友章　長野県立こども病院　外科

ポスターセッション Ⅱ［腎泌尿器］ 16:10 ～ 17:00

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：中村　弘樹（関西医科大学　小児外科）
安井　良僚（金沢医科大学　小児外科）

P2-1 腹部手術歴のある乳児腎不全症例に対する腹膜透析カテーテル挿入の工夫
坂井　幸子　滋賀医科大学　消化器・一般外科学講座

P2-2 先天性腎形成不全による著明な両側腎腫大および肺低形成を認めた一例
本田　正樹　熊本大学　小児外科・移植外科

P2-3 女児の急性腹症において、審査腹腔鏡で卵管捻転を診断し、腹腔鏡下卵管切除術を施行した 1 例
新井　隆斗　金沢医科大学病院　小児外科

P2-4 再発を繰り返す S 状結腸代用膣脱に対し Delorme 法を施行した Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser 症候群の 1 例
小玉　爽太　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科学

P2-5 重複精巣の一例
野瀬　聡子　市立伊丹病院　小児外科

P2-6 精巣良性腫瘍に対する精巣温存手術の経験
小林　隆　新潟大学　小児外科

P2-7 小児日常疾患手術における細径鉗子の有用性
小山　亮太　群馬大学医学部　総合外科学講座

P2-8 鏡視下手術の画質と術者ストレスの検討―男児 SILPEC における 4K と HD の比較―
住田　桃子　群馬県立小児医療センター　外科

ポスターセッションⅢ［頭頸部・胸部］ 16:10 ～ 17:00

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：遠藤　耕介（尼崎総合医療センター　小児外科）
津川　二郎（愛仁会高槻病院　小児外科）

P3-1 輪状軟骨開窓術後に誤嚥防止手術として鹿野式声門閉鎖術を施行した 1 例
中島　雄大　いわき市医療センター　小児外科

P3-2 右鎖骨下動脈分岐異常と食道憩室を合併した食道閉鎖根治術後の気管軟化症の 1 例
高橋　遼　神奈川県立こども医療センター　外科

P3-3 腕頭動脈離断により救命し得た気管腕頭動脈瘻の 1 例
山本　美紀　京都大学　肝胆膵・移植外科／小児外科

P3-4 縦隔嚢胞に対して胸腔鏡下嚢胞摘除術施行した 2 小児例
山本　晃久　鳥取大学附属病院

P3-5 2㎜径内視鏡を用いた新生児横隔膜疾患に対する胸腔鏡下手術の経験
河原　仁守　北海道大学　消化器外科Ⅰ

P3-6 新生児 PI カテーテル断裂による血管内異物に対し外科的摘出を要した一例
中尾　輝　順天堂大学医学部附属順天堂医院　小児外科・小児泌尿生殖器外科

ポスターセッションⅣ［上部消化管］ 16:10 ～ 17:00

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：鈴木　信（岩手医科大学　医学部外科学講座）
畠山　理（兵庫県立こども病院　小児外科）

P4-1 ボタン電池誤飲による高度気管食道瘻に対する段階的治療戦略が奏功した 1 例
中島　優太　国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部　外科

P4-2 腹腔鏡下 Nissen 噴門形成術におけるタムガイド® の有用性
飛田　壮貴　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科

P4-3 胃軸捻転症の 7 歳男児に胃固定術を行った 1 例
桑原　強　石川県立中央病院　小児外科

P4-4 無脾症候群に伴う十二指腸前門脈に発症した胃穿孔の 1 例
濱田　洋　JCHO 九州病院　小児外科

P4-5 解除し得ない腸間膜捻転を伴った胎便性腹膜炎の 1 例－腸間膜形態からみた病態の考察－
辻　亮多　滋賀医科大学　消化器・一般外科学講座

P4-6 Peutz-Jeghers 症候群の多発小腸ポリープに対し術中内視鏡併用手術で粘膜内癌を切除した 1 例
吉澤比呂子　千葉県こども病院　小児外科

P4-7 消化管重複症に腸回転異常症が合併し術前診断に難渋した一例
勝尾　彬　金沢大学附属病院　小児外科

P4-8 術中消化管造影および栄養チューブを用いた逆行性口側検索が有用であった上位空腸膜様狭窄の 1 例
大島　幹生　長崎大学病院　外科学講座　腹部・移植再生外科

ポスターセッションⅤ［下部消化管］ 16:10 ～ 17:00

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：春本　研（淀川キリスト教病院　小児外科）
福澤　宏明（医学研究所北野病院　小児外科）

P5-1 NOM（Non-operative management）を選択した新生児特発性気腹症の一例
松本　紘明　大分県立病院　小児外科

P5-2 審査腹腔鏡で診断確定に至った腸重積症の 2 例
大泉亮太郎　東海大学医学部付属病院　小児外科

P5-3 術中生理食塩水注入エコー法により腸管切除を回避し得た小腸有茎性腫瘤の 1 例
増田　興我　大阪母子医療センター　小児外科

P5-4 術中透視を併用し単孔式腹腔鏡補助下に摘出した複数磁石誤飲の 1 例
川本　里紗　大阪市立総合医療センター　小児外科

P5-5 腹腔鏡補助下に縫合閉鎖し得た小児虫垂炎巨大膿瘍の S 状結腸穿通の 1 例
岡本　光正　姫路赤十字病院　小児外科

P5-6 虫垂口を利用し盲腸腫瘤摘出術を施行した 1 例
東舘　成希　聖マリア病院　小児外科

P5-7 器質的および機能的要因が混在し診断と治療に苦慮した消化管通過障害の 1 例
吉田　晃弥　高知大学医学部附属病院　高知大学　外科学講座

P5-8 Hirschsprung 病類縁疾患術後難治性肛門狭窄に対し長期的な肛門拡張術を継続している 1 例
岡本　大輝　高知大学医学部　外科学講座

ポスターセッションⅥ［肝胆膵］ 16:10 ～ 17:00

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：岡本　竜弥（京都大学医学部附属病院　小児外科）
矢本　真也（大阪市立総合医療センター　小児外科）

P6-1 胆汁滲出を伴う切迫破裂と考えられた先天性胆道拡張症の一例
前田　拓也　安城更生病院　小児外科

P6-2 先天性胆道拡張症術後肝管狭窄に対して異なるアプローチの手術を行った 2 例
鈴木　孝明　湘南藤沢徳洲会病院　小児外科

P6-3 **腹腔鏡下胆道拡張症術後の挙上空腸閉塞を小開腹で解除した 1 例**

荻野　恵　　獨協医科大学病院　とちぎ子ども医療センター　小児外科 / 獨協医科大学　上部消化管外科学

P6-4 **原因不明の閉塞性黄疸に対し施行した経皮経肝胆道鏡の経験**

合田　太郎　　和歌山県立医科大学　第 2 外科

P6-5 **単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した小児胆嚢捻転症の 1 例**

林　健太郎　　金沢大学附属病院　小児外科

P6-6 **完全内臓逆位を伴う胆道閉鎖症に対する生体肝移植の 2 例**

溝上　優美　　京都大学　外科（肝胆膵・移植 / 小児外科）

P6-7 **全身性リンパ管異常に対し胸腔腹腔シャント術を施行した一例**

武　優希　　茨城県立こども病院　小児外科

P6-8 **術中にインドシアニングリーン（ICG）蛍光造影を併用し外科的に治療し得た難治性腹水の乳児例**

佐々木　航　　兵庫県立こども病院

第 36 回日本小児呼吸器外科研究会

プログラム・抄録集

会　長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野）
会　期：2026 年 10 月 29 日（木）
会　場：第 2 会場（2F 中会議場 2 ～ 4）
テーマ：小児難治性肺疾患に対する外科治療戦略

第 36 回日本小児呼吸器外科研究会

会 長 挨 拶

会長：田尻　達郎
九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野

このたび、第 36 回日本小児呼吸器外科研究会を開催させていただくことになりました。伝統と歴史ある本研究会の会長を拝命いたしましたことを大変光栄に存じます。

今回の研究会のテーマは「小児難治性肺疾患に対する外科治療戦略」とさせていただきまして、お陰様で 37 演題の応募をいただきました。

近年、小児嚢胞性肺疾患については疾患概念や定義、分類などの整備がされてまいりましたが、巨大嚢胞を有する症例や、複数病変にまたがる症例に対する治療戦略は様々で、施設方針によって異なるところが大きいと思います。また、Redo Surgery の注意点や血管損傷・気管損傷に対する修復法は、患児の生命予後や QOL に直結する術中合併症を回避するために、小児呼吸器外科領域で議論しておくべき技能と思われます。

今回、教育講演として東京都立小児総合医療センター外科の下高原明廣先生に「成人呼吸器外科の経験を基にした小児呼吸器外科手術の際の注意点」と題してご講演を行っていただくことといたしました。また、ワークショップ 1 では「巨大な嚢胞性肺疾患に対する治療戦略」、ワークショップ 2 では、「術式の工夫」について総合討論をおこない、小児難治性肺疾患について、安全に手術をおこなうための工夫を皆様とともに議論したいと考えております。

小児呼吸器外科の治療は、日々進歩しています。しかし、その一方で、未だ解決すべき課題も残されています。本研究会が、日々の臨床で直面する疑問や、小児の難治性肺疾患に対する治療戦略を共有し、互いの知識と技術を高め合う場となれば幸いです。

皆様の活発なご討議により、この研究会がより一層充実したものとなることを期待しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

プログラム

10月29日（木） 第2会場（2F 中会議場2～4）

世話人会　9:05～9:25

開会の辞　9:25～9:30

会長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）

セッション1［声門・気道］　9:30～10:20

（発表5分、質疑2分）

座長：津川　二郎（愛仁会高槻病院　小児外科）
尾藤　祐子（神戸大学大学院医学研究科　外科学講座　小児外科学分野）

S1-1 小児における声門閉鎖術の検討
伊勢　一哉　高知大学医学部外科学講座消化器外科・小児外科学

S1-2 先天性声門下腔狭窄症に対して partial cricotracheal resection（PCTR）を施行し抜管に至った1例
山下　健太　高槻病院　小児外科

S1-3 難治性の気道食道瘻孔および気管瘻孔の管理に難渋し転帰不良となった1例
東　紗弥　旭川医科大学　外科学講座　小児外科

S1-4 挿管人工呼吸管理・上縦隔炎治療後に瘢痕性気管狭窄と気管軟化を来した3歳児の1例
渡部　亮　秋田大学大学院医学系研究科小児外科学講座

S1-5 食道閉鎖症術後気管軟化症の評価に動態CTが有用であった2例
石川　未来　聖マリアンナ医科大学病院　小児外科

S1-6 片肺を伴う複雑気管狭窄に対する3Dモデルを用いた術前シミュレーションの有用性
五嶋　翼　国立成育医療研究センター　外科

S1-7 先天性気管狭窄症の手術適応に関連する臨床・画像所見
高田　隆治　東京都立小児総合医療センター

セッション2［気胸・膿胸・異物］　10:25～11:10

座長：藤野　明浩（慶應義塾大学　医学部　外科学（小児））
家入　里志（鹿児島大学　小児外科）

S2-1 再発性気胸に対してブラ切除術が有用であった18トリソミーの1例（発表5分、質疑2分）
田島　功暉　日本赤十字社医療センター

S2-2 X連鎖性ミオチュブラーミオパチーに合併した気胸治療中に肝紫斑病による肝出血を来した1例（発表5分、質疑2分）
海老原統基　埼玉県立小児医療センター小児外科

S2-3 PVL遺伝子陽性のMRSAによる壊死性肺炎から膿胸となり胸腔鏡下剥皮術を行った新生児の1例（発表5分、質疑2分）
高澤　慎也　東京大学　小児外科

S2-4　**胸腔鏡下に掻爬術を施行した学童後期 / 思春期膿胸の 2 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
勝部　維啓　　順天堂大学医学部附属順天堂医院小児外科・小児泌尿生殖器外科

S2-5　**学童期肺膿瘍を契機に発見され、胸腔鏡下区域切除により気管支形成異常が示唆された肺嚢胞性病変の 1 例**（発表 5 分、質疑 5 分）
泊　　卓志　　埼玉医科大学病院　小児外科

S2-6　**『軟性気管支鏡下に気管支異物を除去し得た 9 歳男児の一例』**（発表 5 分、質疑 2 分）
山内美貴子　　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

セッション 3［先天性嚢胞性肺疾患］　11:15 ～ 12:10

座長：永田　公二（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）
照井　慶太（自治医科大学　外科学講座　小児外科部門）

S3-1　**非典型的な栄養血管を呈し臨床像と病理像が乖離した先天性肺病変の 1 乳児例**
（発表 5 分、質疑 5 分）
山岡　　敏　　茨城県立こども病院小児外科

S3-2　**気管支閉鎖症の臨床的特徴―東アジア 4 施設における後方視的検討**（発表 5 分、質疑 2 分）
鶴野　雄大　　神戸大学医学部附属病院　小児外科 / 鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系　小児外科

S3-3　**出生前診断に基づき陽圧換気を回避し早期手術を施行した CPAM 1 型の 1 例**
（発表 5 分、質疑 2 分）
目谷　勇貴　　旭川医科大学

S3-4　**広範囲嚢胞性肺病変に対して肺実質温存を目的として肺部分切除と下舌区区域切除を併用した一例**（発表 5 分、質疑 5 分）
近藤　琢也　　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

S3-5　**小児先天性肺気道奇形（CPAM）の胸腔鏡手術成績に対する術前症状の影響：東アジア多施設後方視的研究**（発表 5 分、質疑 2 分）
西田ななこ　　鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系　小児外科学分野

S3-6　**右側腹部痛で発症し術前診断し得た肺葉外肺分画症捻転の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
碓氷もりの　　日本大学医学部外科学系小児外科学分野

S3-7　**10 年間での当科における肺分画症に対する胸腔鏡下手術の検討**（発表 5 分、質疑 2 分）
奥家壮太郎　　福岡大学病院病院呼吸器・乳腺・小児外科

ランチョンセミナー 1　12:20 ～ 13:20

共催：株式会社大塚製薬工場

施設代表者会議　13:30 ～ 13:55

教育講演　14:00 ～ 14:30

座長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）

成人呼吸器外科の経験を基にした小児呼吸器外科手術の際の注意点
下高原昭廣　　東京都立小児総合医療センター　呼吸器外科

ワークショップ 1［巨大な嚢胞性肺疾患に対する治療戦略］ 14:35 ～ 15:40

（発表 6 分、質疑 1 分）

座長：小野　　滋（京都府立医科大学　小児外科）
望月　響子（神奈川県立こども医療センター　外科）

WS1-1 超早産児の巨大 CPAM に対する新生児期肺葉切除の 1 例
松田　理奈　　埼玉県立小児医療センター

WS1-2 生後 1 か月時に胎児水腫を伴った先天性右気管支閉鎖症に対し肺区域切除を施行した 1 例
辻　　由貴　　自治医科大学　とちぎ子ども医療センター　小児外科

WS1-3 挿管直後の外科的ドレナージが有効であった肺葉性肺気腫の一例
東海林莞央里　新潟大学医歯学総合病院　小児外科

WS1-4 出生後に呼吸障害を呈する先天性嚢胞性肺疾患の外科的処置の準備とタイミングについて
梅山　知成　　国立成育医療研究センター　外科

WS1-5 巨大な先天性嚢胞性肺疾患に対する当院での外科治療経験
青木　　光　　神奈川県立こども医療センター

WS1-6 緊張性肺嚢胞を呈した嚢胞性肺疾患症例の外科的治療戦略
文田　貴志　　東京女子医科大学八千代医療センター

ワークショップ 2［術式の工夫（区域切除、出血対策、Re-do surgery）］ 15:45 ～ 16:45

（発表 6 分、質疑 1 分）

座長：木下　義晶（新潟大学　小児外科）
藤代　　準（東京大学　小児外科）

WS2-1 気管腕頭動脈瘻術後の気管孔に対し陰圧閉鎖療法と有茎大網充填術による段階的治療が奏功した 1 例
津坂　翔一　　埼玉県立小児医療センター　小児外科

WS2-2 腕頭動脈ステント留置にて救命した気管腕頭動脈瘻に対し、二期的に腕頭動脈離断術を施行した 1 例
近藤　　彩　　東京都立小児総合医療センター　外科

WS2-3 ステープルライン近傍再発をきたした小児自然気胸の 2 例―再発機序を考慮した再手術術式の選択―
竹添豊志子　　獨協医科大学病院とちぎ子ども医療センター

WS2-4 先天性嚢胞性肺疾患の Re-do Surgery
永田　公二　　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

WS2-5 当院における複数肺葉にまたがる先天性嚢胞性肺疾患への外科的アプローチ
白根　和樹　　神奈川県立こども医療センター外科

セッション 4［腫瘍・その他］ 16:50 ～ 17:35

座長：上原秀一郎（日本大学　医学部　小児外科）
菱木　知郎（千葉大学大学院医学研究院　小児外科学）

S4-1 肺楔状切除後の遷延性エアリークに対し胸腔鏡下再手術が有効であった小児の 1 例
（発表 5 分、質疑 5 分）
井上　真帆　　京都府立医科大学小児外科

S4-2 **先天性肺気道奇形 type1 と思われた肺リンパ管奇形の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
早川　七海　　東京都立小児総合医療センター

S4-3 **超早産児・超低出生体重児に合併した先天性肺リンパ管拡張症（CPL）に対して肺葉切除術を施行した 2 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
谷口　彰宏　　京都府立医科大学　小児外科

S4-4 **10 年間鳩胸様胸郭変形として経過した小児巨大胸腺脂肪腫の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
岩渕瀬怜奈　　兵庫県立こども病院　小児外科

S4-5 **胸腔鏡補助下に分割切除を行った後縦隔巨大脂肪芽腫の 1 例**（発表 5 分、質疑 2 分）
奥村　一慶　　北海道大学大学院医学研究院　消化器外科学教室 I

S4-6 **hMPV 感染合併の気道内異物（うどん）を契機に中縦隔嚢胞病変が見つかった 1 例**
（発表 5 分、質疑 2 分）
大串健二郎　　群馬県立小児医療センター　外科

閉会の辞・次期会長挨拶　17:35 ～ 17:45

会長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）
次回会長：小野　　滋（京都府立医科大学　小児外科）

スポンサードセミナー 1　17:55 ～ 18:55

共催：株式会社セルシード

第 55 回日本小児外科代謝研究会

プログラム・抄録集

会　長：曹　　英樹（川崎医科大学 小児外科）
会　期：2026 年 10 月 29 日（木）
会　場：第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）
テーマ：治療と成長を支える静脈経腸栄養～新生児・乳児期から成人移行期まで～

第 55 回日本小児外科代謝研究会

会 長 挨 拶

会長：曹　英樹
川崎医科大学 小児外科

このたび、第 55 回日本小児外科代謝研究会を担当させていただくこととなりました。伝統ある本研究会の開催をお引き受けできますことを大変光栄に存じます。微力ではございますが、本研究会のさらなる発展に寄与できますよう、鋭意準備を進めてまいります。

我が国は今、世界に類を見ない超少子高齢化社会を迎えております。出生数は予想をはるかに上回る速度で減少を続けており、小児外科医療も大きな転換点を迎えています。新生児期・乳児期の診療にとどまらず、思春期から成人移行期まで、幅広いライフステージにわたってシームレスに医療を継続していくことが求められています。

成人診療領域が先行することの多い医学分野において、静脈経腸栄養の領域では、国内外を問わず、小児外科の諸先輩方のご尽力により、その発展が大きく推進されてまいりました。小児外科領域では、疾患そのものの治療に加え、患児の長期的な成長と発達を見据えて支えていくことが極めて重要です。手術侵襲、慢性疾患、腸管機能障害など、さまざまな病態において、適切な代謝・栄養管理は治療成績を左右する重要な要素となります。

今回のテーマは、「治療と成長を支える静脈経腸栄養～新生児・乳児期から成人移行期まで～」といたしました。静脈経腸栄養を中心に、幅広い演題を応募いただきました。臨床現場における実践的な栄養管理から最新の基礎的知見、さらには移行期医療のあり方に至るまで、幅広い視点から議論を深める機会となれば幸いです。

本研究会の開催にあたり、ご支援・ご協力を賜りました関係各位に、心より深く感謝申し上げます。ご参加の皆様と活発かつ有意義な討論ができますことを心より願っております。皆様とお目にかかれる日を楽しみにしております。

プログラム

10 月 29 日（木） 第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

開会の辞　9:25 ～ 9:30

会長：曹　英樹（川崎医科大学　小児外科）

一般演題 1［栄養評価 / 栄養管理］　9:30 ～ 10:00

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：上原秀一郎（日本大学　医学部　小児外科）
瓜田　泰久（筑波大学　医学医療系　小児外科）

O1-1　小児体組成分析におけるポータブル装置の使用経験と据え置き型装置との比較
根本　悠里　筑波大学附属病院　小児外科

O1-2　経静脈・経腸栄養管理を一元化した Excel ベース栄養管理支援ツールの開発と運用
滝口　和暁　福島県立医科大学附属病院

O1-3　胃瘻造設やミキサー食注入を契機に摂取機能が改善した経口摂取困難児の検討
上松　由昌　神奈川県立こども医療センター　外科

O1-4　複数回の腸管手術後に経口摂取の制限が生じた患児に対する胃瘻造設の意義
蛭間　善章　国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部　外科

一般演題 2［微量元素・代謝］　10:00 ～ 10:45

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：千葉　正博（昭和医科大学薬学部　臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門）
橋詰　直樹（久留米大学医学部　外科学講座小児外科部門）

O2-1　長期在宅中心静脈栄養患者における血中微量元素および鉄代謝の検討
中畠　賢吾　大阪大学大学院医学系研究科　外科学講座小児成育外科 / 大阪大学腸管不全治療センター

O2-2　当院における小児への静注用セレン製剤の使用経験と臨床的検討
川口雄之亮　千葉大学大学院医学研究院　小児外科学

O2-3　長期の静脈栄養施行時にセレン欠乏症の疑診となり診断的治療を行った 1 例
出縄　康次　東海大学　小児外科 / 東海大学　脳神経内科学

O2-4　セレン欠乏が一因と考えられた長期中心静脈栄養児の心不全の 1 例
緑川　雄亮　福島県立医科大学附属病院　小児外科

O2-5　在宅中心静脈栄養施行中に高 CK 血症を呈したヒルシュスプルング病類縁疾患の 2 例
木村　浩基　奈良県総合医療センター小児外科

O2-6　重症心身障碍者における侵襲時のビタミン K 欠乏症の検討
本間　公貴　久留米大学医学部外科学講座小児外科部門

一般演題 3［中心静脈カテーテル］ 10:45 ～ 11:20

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：福本　弘二（静岡県立こども病院　外科（小児外科・成育外科））
銭谷　昌弘（大阪母子医療センター　小児外科）

O3-1 **表皮水疱症患者における長期中心静脈栄養等の確保：カテーテル留置と管理上の留意点**
三森浩太郎　福島県立医科大学附属病院　小児外科

O3-2 **腰静脈を用いて長期留置型中心静脈カテーテルを留置した腸管不全の 1 例**
桝屋　隆太　愛媛大学大学院医学系研究科消化管・腫瘍外科学講座

O3-3 **長期中心静脈カテーテル留置中に生じた腕頭静脈狭窄に対し経皮的血管形成術を施行した短腸症候群の 1 例**
石井　生　旭川医科大学　外科学講座　小児外科

O3-4 **小児長期中心静脈カテーテルに対する Ethanol Lock Therapy の有効性と安全性：系統的レビューおよびメタ解析**
野口　侑記　大阪母子医療センター小児外科

O3-5 **神経学的所見を発見の契機とした CRBSI に合併した深在性真菌感染の一例**
田中　保成　静岡県立こども病院　小児外科

一般演題 4［腸管不全 / 栄養管理］ 11:20 ～ 12:10

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：加治　建（久留米大学　医学部外科学講座　小児外科部門）
北河　徳彦（神奈川県立こども医療センター　外科）

O4-1 **低脂肪成分栄養下におけるマウス小腸切除後の形態的腸管順応と脂質吸収関連分子応答の乖離**
佐々木理人　筑波大学　医学医療系　小児外科

O4-2 **先天性短腸症候群の一例**
吉田　寛樹　聖マリア病院小児外科

O4-3 **Total Intestinal Aganglionosis の乳児に対する Teduglutide の使用経験**
松原　詩歩　久留米大学医学部外科学講座小児外科部門

O4-4 **低出生体重児に発症した短腸症候群に対するテデュグルチド導入の経験**
藤田　拓郎　長崎大学病院　外科学講座　小児外科

O4-5 **ヒルシュスプルング病類縁疾患に対するテデュグルチドの使用経験**
吉澤　一貴　長野県立こども病院

O4-6 **小児短腸症候群におけるテデュグルチド導入後早期の腸内細菌叢の解析**
相吉　翼　筑波大学医学医療系　小児外科

O4-7 **Teduglutide（TED）投与中の短腸症候群患児に発生した小腸過形成ポリープの 1 例**
後藤　悠大　筑波大学　医学医療系　小児外科

ランチョンセミナー 2 12:20 ～ 13:20

共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス

施設代表者会議

13:30 ～ 14:00

研究会企画講演

14:00 ～ 14:30

座長：曹　　英樹（川崎医科大学　小児外科）

Omegaven 医師主導治験の現状と課題

和田　　基　　東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野・東北大学病院総合外科（小児外科）

要望演題［成長を支える栄養療法］

14:30 ～ 15:20

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：渡辺　稔彦（東海大学医学部　小児外科学）
永田　公二（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）

RS-1　**当科で治療中の腸管神経節細胞僅少症の治療戦略**

永田　公二　　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

RS-2　**小腸型ヒルシュスプルング病に Ziegler 法を施行したが治療に難渋している 1 例**

高田　瞬也　　名古屋大学大学院　小児外科学

RS-3　**Bishop-Koop 型（B-K）ストーマ造設術を行った Multisystemic smooth muscle dysfunction syndrome（MSMDS）の 1 例**

中村　恵美　　東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野

RS-4　**胃空腸バイパスと GJ チューブを用いた減圧胃液の空腸還流により電解質高負荷 TPN 依存を軽減し得た CIIP の 1 例**

永嶋　一貴　　群馬県立小児医療センター外科

RS-5　**PEG-J 造設・留置により自宅退院可能となった慢性偽性腸閉塞症の成人例**

矢野　圭輔　　鹿児島大学小児外科

RS-6　**成長発達を支える HPN と腸瘻の管理**
―Hypoganglionosis の 1 例における 6 年の経過について―

山内　　健　　佐賀県医療センター好生館　小児外科

RS-7　**腸管リハビリテーションセンター構築を目指した多職種・多診療科チームの立ち上げ**

下島　直樹　　国立成育医療研究センター小児外科系専門診療部外科

教育講演

15:20 ～ 16:20

座長：渡邊　美穂（大阪大学大学院医学系研究科　小児成育外科）

小児消化器疾患の栄養管理と成長発達

木村　武司　　大阪大学大学院医学系研究科　小児科学

一般演題 5［合併症・周術期管理］ 16:20 ～ 16:55

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：浅桐　公男（雪の聖母会　聖マリア病院　小児外科）
武藤　　充（鹿児島大学病院難治性腸疾患支援センター　腸管不全部門）

O5-1 **巨大嚢胞性胎便性腹膜炎術後に重症 FPIES を合併した 1 例**
金　　聖和　　京都府立医科大学小児外科

O5-2 **小児外科手術後に発症した遅延型ミルクアレルギーの 2 例**
久山　寿子　　川崎医科大学　小児外科

O5-3 **長期経幽門下チューブ留置中に肥厚性幽門狭窄症を発症した 1 乳児例**
長谷　泰聖　　東京大学小児外科 / 東京大学小児科

O5-4 **胃空腸バイパス術後の一時的通過障害に対し胃瘻十二指腸チューブが有効であった 1 例**
中神　智和　　昭和医科大学江東豊洲病院小児外科

O5-5 **消化管穿孔を契機に診断された小児期発症 Crohn 病の 1 例 ― 慢性腹部症状を伴う穿孔症例における鑑別の重要性 ―**
高山　慶太　　奈良県総合医療センター小児外科

スポンサードセミナー 2 17:05 ～ 18:05

共催：クリニジェン株式会社

閉会の辞 18:05 ～ 18:10

スポンサードセミナー 3 18:20 ～ 19:20

共催：株式会社メディコン

第 82 回直腸肛門奇形研究会

プログラム・抄録集

会　長：平林　　健（弘前大学医学部附属病院 小児外科）
会　期：2026 年 10 月 30 日（金）
会　場：第 2 会場（2F 中会議場 2 ～ 4）
テーマ：低位型症例の長期予後

第 82 回直腸肛門奇形研究会

会 長 挨 拶

会長：平林　　健
弘前大学医学部附属病院 小児外科

このたび、伝統ある第 82 回直腸肛門奇形研究会の会長を務めさせていただくこととなりました、弘前大学医学部附属病院小児外科の平林 健でございます。

本研究会は、1974 年の発足以来、直腸肛門奇形（鎖肛）の患者さんにより良い医療を届けることを目指し、活発な研究と討論を積み重ねながら、最適な治療法の追求と新たな治療法の開発に取り組んでまいりました。

第 82 回研究会では、「低位型症例の長期予後」を要望演題として取り上げました。おかげさまで、要望演題をはじめ、多数の演題をご応募いただきましたことを、心より御礼申し上げます。

限られた時間ではございますが、「低位型症例の長期予後」を中心に、直腸肛門奇形の治療や術後管理、長期的な課題について、皆様とともに考え、議論を深める機会となれば幸いです。それぞれのご経験や知見を共有していただくことで、今後の診療に役立つ新たな気づきが得られる研究会になることを願っております。

当日、会場で皆様と直接お目にかかり、活発な討論と有意義な情報交換ができますことを、心より楽しみにしております。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

プログラム

10 月 30 日（金） 第 2 会場（2F 中会議場 2 ～ 4）

開会の辞　9:30 ～ 9:35

会長：平林　　健（弘前大学医学部附属病院　小児外科）

事務局報告　9:35 ～ 9:55

要望演題 I - i ［病型別の長期予後 i ］　10:00 ～ 10:45

（発表 6 分、質疑 3 分）

座長：藤野　明浩（慶應義塾大学　医学部　外科学（小児））
岡島　英明（金沢医科大学　小児外科）

RS1-1　当科における低位鎖肛術後患者の外来フォローアップの実態―計画的終診例と通院中断例の検討―
坂村　颯真　　国立成育医療研究センター

RS1-2　当院における低位鎖肛の術排便機能予後に関する検討
小川　祥子　　埼玉県立小児医療センター　外科

RS1-3　低位鎖肛における術後排便管理の検討
小関　元太　　千葉大学医学部附属病院

RS1-4　低位鎖肛術後の長期排便機能についての検討
武之内史子　　松戸市立総合医療センター小児外科

RS1-5　肛門膣前庭瘻の臨床的特徴―病型に基づく女児低位鎖肛における病型別臨床的特徴の比較検討
春松　敏夫　　鹿児島大学学術研究院　医歯学域医学系　小児外科学分野 / 鹿児島市立病院　小児外科

要望演題 I - ii ［病型別の長期予後 ii ］　10:50 ～ 11:35

（発表 6 分、質疑 3 分）

座長：曹　　英樹（川崎医科大学　小児外科）
下島　直樹（国立成育医療研究センター　小児外科系専門診療部外科）

RS2-1　当院における低位鎖肛術後の中長期経過について
森田　香織　　東京大学附属病院小児外科

RS2-2　当科における低位鎖肛症例の術後長期管理の検討
入江　理絵　　さいたま市立病院小児外科

RS2-3　当院における低位鎖肛手術後の排便機能の検討
緒方　将人　　宮崎大学医学部付属病院

RS2-4　低位鎖肛術後長期における排便機能　―便禁制と便秘治療の単施設検討―
大澤　悠樹　　愛仁会高槻病院

RS2-5　位鎖肛術後症例の中長期的予後の検討
岡部　　穣　　順天堂大学医学部附属練馬病院

一般演題Ⅰ［長期予後・術式比較・合併症］ 11:40 ～ 12:16

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：内田　恵一（三重県立総合医療センター　小児外科）
加藤　源俊（杏林大学　医学部　小児外科）

O1-1　直腸肛門奇形術後の肛門形成部狭窄に対するブジーに関する検討
笠井　智子　　長野県立こども病院　外科

O1-2　総排泄腔遺残症患者における、共通管長の違いによる成人期の診療状況の比較検討
銭谷　昌弘　　大阪母子医療センター　小児外科

O1-3　総排泄腔外反症における尿路介入の年齢別変遷：単施設ケースシリーズ
柴田　淳平　　愛知県医療療育総合センター　小児外科

O1-4　高位・中間位直腸肛門奇形に対する Nixon 肛門形成術を併用した骨盤底筋群温存術式の検討
上林エレーナ幸江　京都大学医学部附属病院　肝胆膵・移植・小児外科

O1-5　当院のストマ排泄外来における患者背景、治療および成績
田村　　亮　　兵庫県立こども病院　外科

O1-6　当院における総排泄腔外反症症例の中・長期経過
中田　光政　　千葉県こども病院

ランチョンセミナー 3 12:30 ～ 13:30

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

特別講演 13:40 ～ 14:10

座長：平林　　健（弘前大学医学部附属病院　小児外科）

成人直腸肛門外科の進歩と変わらないもの
須藤亜希子　　弘前大学医学部附属病院　消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科

一般演題Ⅱ［研究］ 14:10 ～ 14:24

（発表 5 分、質疑 2 分）

座長：荒　　桃子（北海道大学大学院医学研究院　消化器外科学教室Ⅰ）
加藤　源俊（杏林大学　医学部　小児外科）

O2-1　小児鎖肛症例における EMS（Electrical muscle stimulation）訓練の試み
濟陽　寛子　　順天堂大学　小児外科・小児泌尿生殖器外科

O2-2　ブタの VACTERL 連合
冨田　大翔　　医学研究所　北野病院

要望演題Ⅱ［術式別の長期予後・合併症］ 14:30 ～ 15:24

（発表 6 分、質疑 3 分）

座長：木下　義晶（新潟大学　小児外科）
井上　幹大（藤田医科大学　小児外科）

RS3-1 女児低位型直腸肛門奇形に対する Pott's 法への術式変更の妥当性―Limited PSARP との中長期成績比較―
瀧本　篤朗　京都府立医科大学　小児外科

RS3-2 当院における低位鎖肛術後の排便機能予後と排便管理法の検討
斎藤　浩一　新潟大学医歯学総合病院　小児外科

RS3-3 低位鎖肛術後長期経過例における排便管理と排便機能の検討
西村　雄宏　千葉県こども病院　小児外科

RS3-4 肛門膣前庭瘻における術式別術後排便機能推移の検討―肛門移動術と前方矢状切開肛門形成術の比較
長野　綾香　鹿児島大学学術研究院　医歯学域医学系　小児外科学分野

RS3-5 低位鎖肛に対する肛門再形成術の長期成績
野村　明芳　静岡県立こども病院

RS3-6 低位鎖肛術後の直腸脱に対し Delorme 法を施行した 2 例
中村　恵美　東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野

一般演題Ⅲ［症例報告 i ］ 15:40 ～ 16:16

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：中田　光政（千葉県こども病院　小児外科）
春松　敏夫（鹿児島市立病院　小児外科）

O3-1 肛門管重複症 2 例に対する後方矢状切開アプローチの有用性
福田　篤久　九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野

O3-2 Miller-Dieker 症候群に合併した直腸閉鎖に対して内視鏡補助下経皮的肛門形成術（ePARP）を施行した 1 例
小玉　爽太　北里大学医学部　一般・小児・肝胆膵外科学

O3-3 鎖肛術後直腸脱に対する Delorme 法を再考する―TRMMP の提唱を踏まえて―
久万田優佳　旭川医科大学　外科学講座　小児外科

O3-4 成人期鎖肛再手術後に帝王切開で出産した直腸膣前庭瘻の 1 例
荒　桃子　北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅰ

O3-5 術後尿道皮膚瘻の治療に難渋している rectopenile fistula の 1 例
磯野　香織　熊本大学病院　小児外科・移植外科

O3-6 肛門前庭部瘻に会陰脂肪腫を合併した 1 例
町野　翔　福島県立医科大学附属病院　小児外科

一般演題Ⅳ［症例報告 ii］ 16:20 ～ 16:50

（発表 4 分、質疑 2 分）

座長：宮城　久之（旭川医科大学　外科学講座　小児外科）
齋藤　　傑（弘前大学医学部附属病院　小児外科）

O4-1 Covered Cloacal Exstrophy が疑われた複合奇形を伴う直腸尿道瘻の 1 例
佐藤　壮泰　　慶應義塾大学病院

O4-2 Caudal Duplication Syndrome に伴う中間位鎖肛に対する手術戦略の検討
洞口　　俊　　獨協医科大学　とちぎ子ども医療センター　小児外科

O4-3 先天性気管狭窄を合併し高位鎖肛根治術の時期決定に苦慮した一例
大村洸二朗　　金沢医科大学小児外科

O4-4 何らかの遺伝的背景を有すると思われる低位鎖肛の双胎症例
古形　修平　　奈良県総合医療センター

O4-5 当院で経験した会陰溝の 3 例
和田　武裕　　高知大学医学部　外科学講座

閉会の辞 16:50 ～ 17:00

特別委員会報告：医系技官とは 17:05 ～ 17:55

第 30 回日本小児外科漢方研究会

プログラム・抄録集

会　長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野）
会　期：2026 年 10 月 30 日（金）
会　場：第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）
テーマ：小児外科漢方　エビデンスの蓄積と新たな活用法の創出

第 30 回日本小児外科漢方研究会

会 長 挨 拶

会長：田尻　達郎
九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野

このたび、第 30 回日本小児外科漢方研究会を開催させていただくことになりました。伝統と歴史ある本研究会の会長を拝命いたしましたことを大変光栄に存じます。

本研究会は今回で 30 回目を迎えます。小児外科領域における漢方治療のエビデンスも数多く積み上げられてまいりました。今後もさらにエビデンスレベルの高い基礎・臨床研究報告の蓄積が期待されます。

一方で、一人の患者を丁寧に診察し、個に応じた治療が可能であることは漢方治療の強みであり、症例報告も貴重なエビデンスになります。一例の症例報告が小児外科領域における新たな漢方活用法の創出に繋がることもあります。

そこで、今回の研究会のテーマは「小児外科漢方　エビデンスの蓄積と新たな活用法の創出」とさせていただきまして、20 演題の応募を頂きました。これまでの小児外科漢方のエビデンスを強化する演題やこれまでにない新たな使用例の症例報告など示唆に富む演題をご登録頂き、感謝しております。

また、今回、特別講演としては聖隷横浜病院救急科・漢方科の入江康仁先生に「「救急漢方」の挑む世界～漢方薬の新たな活用法の創出～」と題しまして、外傷、熱傷など幅広い急性期疾患を対象とした救急漢方の実践についてご紹介いただきます。

小児外科医の日々の診療に有意義な実りある研究会を開催できましたら幸甚に存じます。多くの皆様とお目にかかれますことを心よりお待ち申し上げております。

プログラム

10 月 30 日（金） 第 3 会場（1F 特別会議室 101 ～ 103）

総会　9:30 ～ 10:00

開会の辞　10:00 ～ 10:05

会長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）

一般演題　セッション 1［水の異常］　10:05 ～ 10:35

（発表 7 分、質疑 3 分）

座長：伊勢　一哉（高知大学医学部外科学講座　小児外科）
渡邉　俊介（藤田医科大学　小児外科）

O1-1　**胎児期指摘の巨大頸部リンパ管奇形に対し、出生早期のドレナージと越婢加朮湯内服が奏効した 1 例**
緑川　雄亮　　福島県立医科大学附属病院小児外科

O1-2　**シロリムスによるメサンギウム増殖性腎炎蛋白尿に対して越婢加朮湯と芎帰膠艾湯が奏功した血管奇形小児例**
文野　誠久　　京都府立医科大学小児外科

O1-3　**越婢加朮湯内服で治癒した Baker 嚢腫の 1 小児例**
大浜　和憲　　金沢医科大学小児外科 / 公立松任石川中央病院小児外科

一般演題　セッション 2［血の異常］　10:35 ～ 11:15

（発表 7 分、質疑 3 分）

座長：橋詰　直樹（久留米大学医学部　外科学講座小児外科部門）
中畠　賢吾（大阪大学大学院医学系研究科　外科学講座小児成育外科学）

O2-1　**虫垂炎手術を契機に月経困難症治療を見直した 1 例**
升井　大介　　久留米大学外科学講座小児外科部門

O2-2　**Klippel-Trenaunay-Weber 症候群に対する桂枝茯苓丸の使用経験**
秦　　佳孝　　国際医療福祉大学那須医療センター小児外科

O2-3　**リンパ管腫内出血例に対する漢方療法**
新開　統子　　筑波大学医学医療系小児外科

O2-4　**小児外傷性脾損傷の保存的加療における駆瘀血療法の活用と治打撲一方の有用性**
若尾　純子　　NHO 栃木医療センター小児外科・小児泌尿器科

特別講演　11:20 ～ 12:20

座長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）

「救急漢方」の挑む世界～漢方薬の新たな活用法の創出～
入江　康仁　　聖隷横浜病院　救急科（ER）／漢方科

ランチョンセミナー 4　12:30 ～ 13:30

共催：ソルブ株式会社

要望演題［臨床研究］　13:40 ～ 14:20

（発表 7 分、質疑 3 分）

座長：小川　恵子（広島大学病院漢方診療センター）
宮田　潤子（九州大学大学院医学研究院小児外科学分野）

RS-1　小児外科診療における和漢診療科との連携診療の現状
勝海　大輔　千葉大学大学院医学研究院小児外科学

RS-2　当科における乳児の肛門周囲膿瘍に対する漢方治療の検討
山内　健　佐賀県医療センター好生館小児外科

RS-3　小児に対する大建中湯投与前後の血液検査データの変動に関する検討
近藤　琢也　九州大学大学院医学研究院小児外科学分野

RS-4　小児複雑性虫垂炎に対する虫垂切除術後の腸管機能回復における大建中湯の効果についての検討
柳田　佳嗣　東京大学大学院医学系研究科生殖発達加齢医学専攻小児外科学

一般演題　セッション 3［消化器症状］　14:20 ～ 15:00

（発表 7 分、質疑 3 分）

座長：惠紙　英昭（久留米大学医療センター先進漢方治療センター）
和田　基（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野・東北大学病院総合外科（小児外科））

O3-1　遷延する嘔吐に対し茯苓飲合半夏厚朴湯が有効であった 18 トリソミー児の 1 例
金森　洋樹　藤田医科大学病院小児外科

O3-2　腸管神経節細胞僅少症の小腸ストーマ管理における黄耆建中湯の有用性
薄井　佳子　自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児外科

O3-3　心理的要因に起因した排便後腹痛に対して漢方治療が奏功した 1 例
宮田　潤子　九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 / 九州大学大学院医学研究院保健学部門

O3-4　慢性的な腹痛・嘔気による不登校に漢方治療が有用であった 1 例
齋藤江里子　千葉大学大学院医学研究院和漢診療学 / 千葉市立海浜病院小児外科

一般演題　セッション 4［膿瘍・感染症］　15:05 ～ 15:55

（発表 7 分、質疑 3 分）

座長：田中　秀明（福島県立医科大学附属病院小児外科）
新開　統子（筑波大学医学医療系小児外科）

O4-1　抗菌薬治療で改善を認めなかった乳児肛門周囲膿瘍に対し排膿散及湯が有効であった 1 例
元木　惠太　旭川医科大学外科学講座小児外科

O4-2　Crohn 病の肛門病変に対して排膿散及湯の有効性が示唆された 3 症例
西山　典寛　高知大学医学部外科学講座（消化器外科・小児外科）

O4-3　胃瘻周囲に生じた皮下膿瘍の排膿後に十全大補湯を使用した 1 例
土方　浩平　帝京大学医学部外科学講座小児外科

O4-4　繰り返す緑膿菌によるカテーテル感染症に対し十全大補湯が効果的であった短腸症候群の1例

小原由紀子　　松戸市立総合医療センター

O4-5　膿瘍形成疾患に対する漢方治療の経験

熊手　芽輝　　九州医療センター小児外科

閉会の辞・次期会長挨拶

15:55 ～ 16:05

会長：田尻　達郎（九州大学大学院医学研究院　小児外科学分野）
次回会長：田中　秀明（福島県立医科大学附属病院　小児外科）